Victor
取扱説明書

お楽しみブック

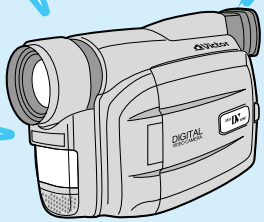
撮って楽しい！見て楽しい！ デジタルビデオカメラ

―― いますぐ使える簡単ガイドつき（4～6ページ） ――

簡単だから すぐ使える

撮影前に このブックを 読んでね！

撮った その場で すぐ見られる



楽しみながら 撮れる

Mini DV NTSC

型名 GR-DVA1

デジタルだから 楽しさ拡がる

旅行の パートナー

お買い上げいただき、ありがとうございます。

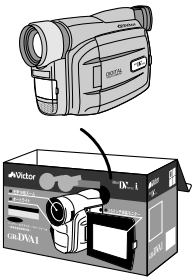
⚠ **ご使用の前に**

特に8～9、114～123ページは、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0434-001B

目　次

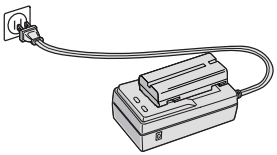
はじめに



■ いますぐ撮りたい！---------- 4
■ いますぐ見たい！ ---------- 6
■ 付属品のご紹介 ---------- 7
■ 安全に使っていただくために ----- 8
■ 主な特長 ---------- 10
■ アイコンのご紹介 ---------- 12
■ ビデオ撮影のテクニックとコツ
（海外旅行編）---------- 13
（運動会編）---------- 14
（結婚式編）---------- 15
■ 各部の名前とはたらき ---------- 16
■ 電源ダイヤル ---------- 19
■ 液晶画面とファインダー表示---- 20
■ お知らせ表示 ---------- 22
■ 日常のお手入れ ---------- 23

準　備

■ バッテリーを充電する---------- 26
■ バッテリーを取り付ける--------- 27
■ コンセントをつないで使う------ 28
■ カセットを入れる---------- 29
■ クリップベルトを手に合わせる-- 30
■ ショルダーストラップを取り付ける-- 31
■ 画面の明るさを調節する--------- 32
■ ファインダーの視度を調節する-- 33
■ リモコンの使い方---------- 34
■ 準備完了---------- 36



撮る

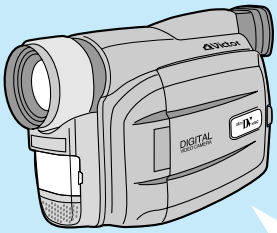
■ 撮影の基本（上手に撮る姿勢）--- 38
■ 簡単な撮影のしかた---------- 40
■ 記念写真を撮る---------- 42
■ ズームして撮影する---------- 44
■ 暗い場所で撮影する---------- 45
■ タイムコードについて---------- 46

見る

■ 液晶画面で見る ---------- 48
■ テレビ・ビデオデッキに接続して見る---- 50
■ 再生映像をズームする---------- 53
■ 再生映像に演出効果を加える-------- 53
■ 再生メニューの設定を変更する------ 54

楽しむ

■ ダビングする ---------- 58
■ デジタルダビングする ------ 60
■ ビデオプリンターで印刷する- 62
■ パソコンに接続する -------- 64
■ アフレコ編集する ---------- 66
■ 自動編集する ---------- 68
■ より正確に自動編集する ---- 75



Mini DV NTSC
型名 GR-DVA1

もっと使いこなす
（マニュアル撮影）

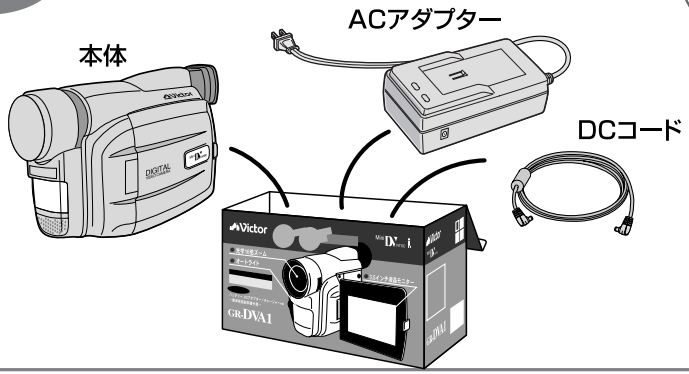
■ ピントを合わせる ---------- 78
■ 明るさを調節する ---------- 80
■ 色のバランスを調節する -----82
■ 場面のつなぎに変化をつける--86
■ 映像に変化をつける -------- 92
■ メニューの設定を変更する---96

その他

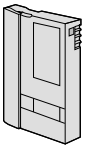
■ 故障かな？と思ったら---106
■ 海外でお使いになるときは--110
■ 保証とアフターサービス--111
■ ビクターサービス窓口案内--112
■ 安全上のご注意---------114
■ 使用上のご注意---------119
■ 主な仕様 ----------124
■ メニュー一覧----------126
■ 索引----------128

いますぐ撮りたい！

1 必要なものは

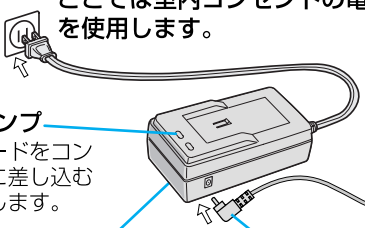


ミニ
Mini DVカセット（別売）



2 電源をつなぐ

ここでは室内コンセントの電源を使用します。



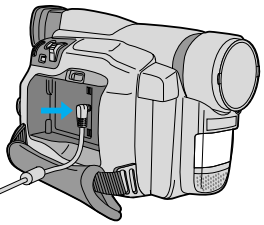
電源ランプ
電源コードをコンセントに差し込むと点灯します。

ACアダプター

差し込む

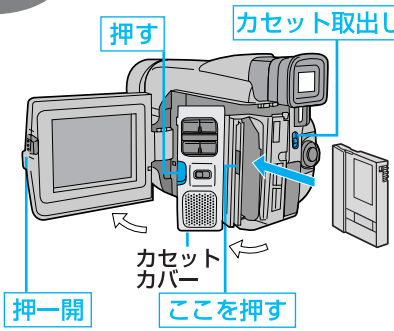
DCコード

ビデオカメラのDC入力端子にDCコードを差し込む



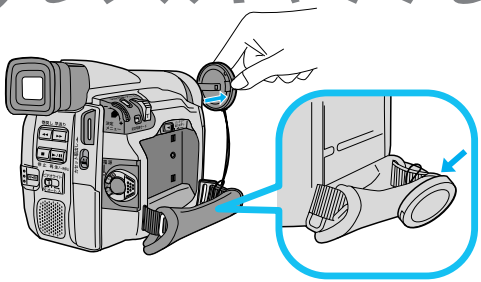
バッテリーを使う場合は、充電してからご使用ください。（26ページ）

3 カセットを入れる

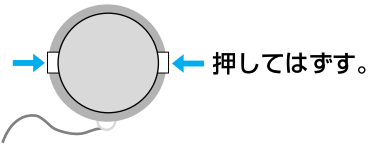


1. 押一開 ボタンを押しながら液晶画面を開く
2. 青い カセット取出し スイッチを上にスライドさせながら、カセットカバーを手で開ける
   ・自動的にカセットホルダーが開きます。
3. DVカセット（別売）を入れて ここを押す を押す
   ・カセットは奥まで確実に入れてください。
   ・自動的にカセットホルダーが収納されます。
4. カセットカバーの 押す を押してカセットカバーを閉じる

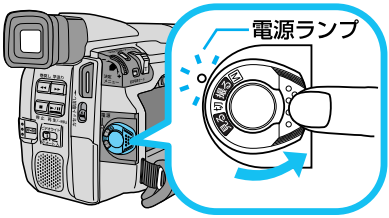
4 レンズキャップをはずす



レンズキャップをはずし、
グリップベルトにはさみます。



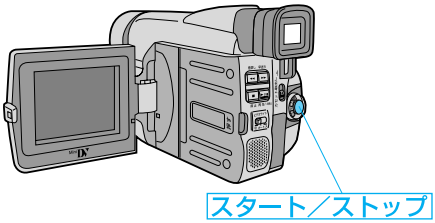
5 電源を入れる



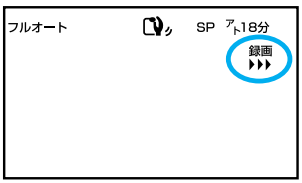
電源ダイヤルを 撮る に合わせる
・電源ランプが点灯します。

6 撮る

赤い スタート／ストップ ボタンを押す
・撮影が始まります。

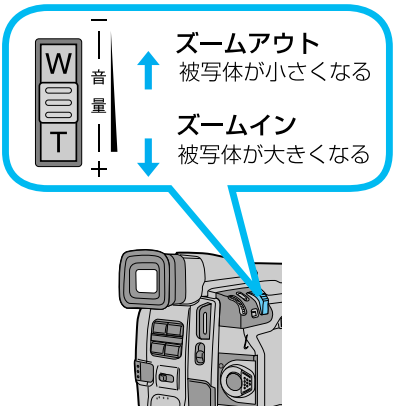


撮影中の画面



7 ズームする

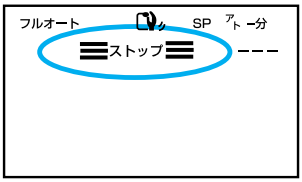
ズームスイッチ



8 撮影を止める

スタート／ストップ ボタンを押す
・撮影が一時停止します。

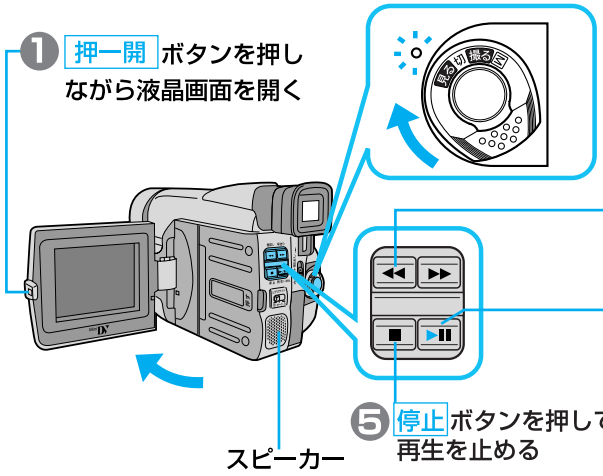
撮影一時停止中の画面



撮影した映像をいますぐ見たいときは
6ページをご覧ください。

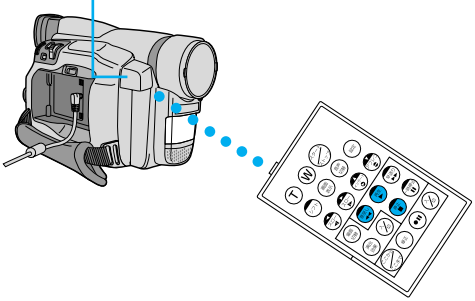
いますぐ見たい！

1 液晶画面で見る

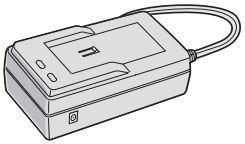


テレビ・ビデオデッキに接続して見たいときは、50ページをご覧ください。

リモコンを使うと便利です(34ページ)

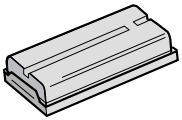


付属品のご紹介

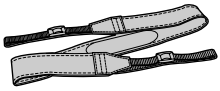


ACアダプター
／チャージャー
AA-V20

リモートコントロール
RM-V711（リモコン）



バッテリー
BN-V214

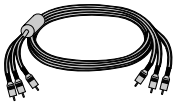


ショルダーストラップ

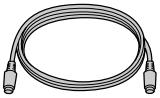
リモコン用ボタン電池
CR2025（動作確認用）

フェライトコア（大）
（別売DVケーブル用）

フェライトコア（小）
（編集ケーブルまたは
別売JLIPケーブル用）

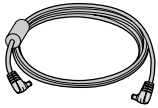


映像／音声コード
長さ：約1.5m
ピンプラグ×3
ビデオカメラとテレビ、
または
ビデオデッキ接続用



S映像コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラと
S映像対応のテレビ、
または
ビデオデッキ接続用

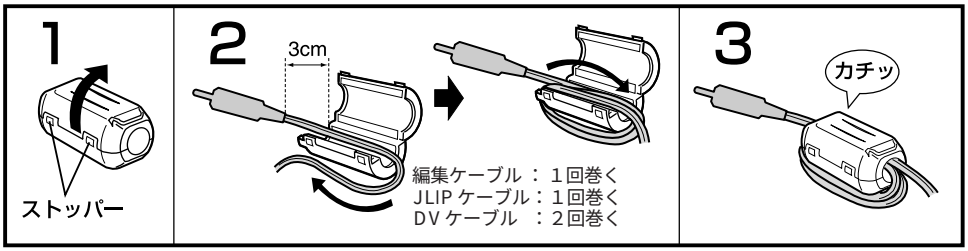
編集ケーブル
長さ：約1.5m
自動編集用



DCコード
長さ：約2.0m

フェライトコアの取り付けかた

付属の**編集ケーブル**や別売の**DVケーブル**、**JLIPケーブル**をお使いになるときに取り付けてください。映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減することができます。



1
両端のストッパーをはずして開く

2
フェライトコアにケーブルを巻く
●端子から約3cmの位置にフェライトコアを取り付けます。

3
ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

■接続するときは、フェライトコアを取り付けた側の端子をビデオカメラに接続してください。

⚠ 安全に使っていただくために

安全のために必ずお守りください

⚠危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

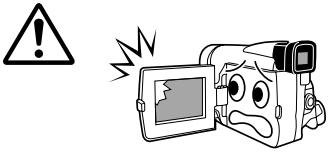
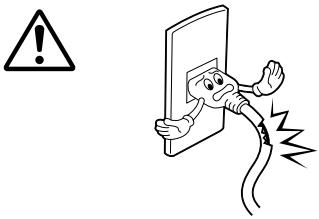
●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

⚠警告

こんなときはバッテリーをはずすか、電源プラグを抜いてください。

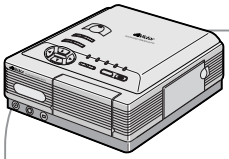
煙が出たり、へんな臭いがするとき	落としたり、壊れたとき
	
内部に水や異物が入った	電源コードが傷んだとき
	

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

114～123ページの「安全上のご注意」、「使用上のご注意」も必ずお読みください。

主な特長

デジタルビデオカメラ
ビクターのDVCは



きれい！

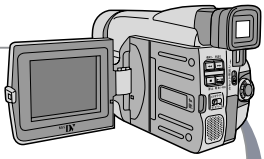
高画質だからとっても鮮やか

ビクターのデジタルビデオカメラは高画質が自慢です。思い出のシーンをきれいな映像で残します。

静止画もきれいではがきにも使える

動画はもちろん、「記念写真モード」で撮影した静止画もきれいです。68万画素CCDだから、ビデオプリンターで出力しても美しい仕上がりです。

簡単！



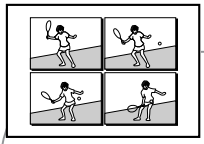
大型の液晶画面で手軽に撮影&再生

3・5型の大型液晶画面を見ながら手軽に撮影できます。また、撮ったばかりのクリアな映像をどこでもすぐ再生することができます。

リモコンでらくらく再生

リモコンを使えば、さらに操作が簡単。ズームやスロー再生のほか、上下左右に画像を移動したり、画像をセピア色に演出することもできます。

きれい！簡単！おもしろい！



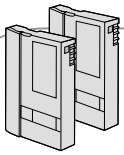
おもしろい！

記念写真がビデオカメラで撮れる

静止画を記録できる「記念写真モード」があります。枠なし、枠あり、ピンナップモードなど、スチルカメラのように撮影できます。

分割写真で楽しさがさらに拡がる

「記念写真モード」には、ほかに4マルチ、9マルチモードがあり、動きのある映像をコマ送りのように連続して撮影できます。



さらにおもしろい！

ビデオの映像を年賀状やホームページに

デジタル高画質だから、撮った映像をパソコンに取り込み、年賀状やホームページにも活用できます。（別売のHS-V4K-ITを使用します。）

編集機能を使って個性的な作品づくり

撮影した映像に音声を加えたり、お好きな場面を選んで自動でダビングできる編集機能があります。思い出の映像をさらに印象的に仕上げます。

アイコンのご紹介

楽しみかた

ポイント

この「楽しみかた」枠の中には、お買い上げいただいたデジタルビデオカメラの機能を「どう使ったら楽しめるか」という内容が書かれています。

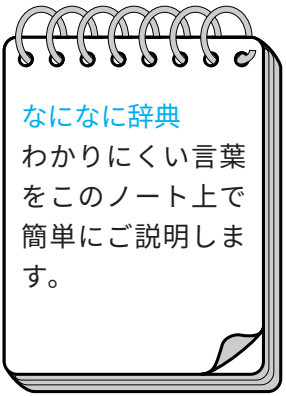
また、「ポイント」枠の中には、説明されている内容のポイントをご説明しています。

お楽しみマーク
楽しみかたのご説明のときに登場します。

にっこりマーク
ちょっといい機能をご説明するときに登場します。便利な機能を使ってビデオカメラライフを楽しんでください。

どうしようマーク
トラブルや使えない機能の説明の際に登場します。解決法をお教えします。

ご注意マーク
注意していただきたい内容のときに登場します。



なになに辞典
わかりにくい言葉をこのノート上で簡単にご説明します。

ビデオ撮影のテクニックとコツ

楽しみかた

楽しいビデオアルバムを作りましょう

ポイント 1

楽しいビデオアルバムを作るには、撮影前にシナリオを考えておきます。

ポイント 2

ズームイン・アウトをうまく使ってメリハリを。

ポイント 3

人物だけではなく、周囲の様子も撮影して、雰囲気を残しましょう。

1 海外旅行編

1 タイトルを作る

これから撮影するビデオのタイトルをつくり、５秒程度撮影します。

2 旅行前の様子

旅行用ビデオのシナリオを考えます。旅行のポイントを押さえておきます。

3 出国／入国

出国・入国の際には、ビデオカメラの日時を現地時間に設定しましょう。

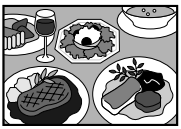
4 名所

名所の前で記念写真を撮影。ズームインして、迫力をもたせます。

5 夜の散歩

暗い場所でも、ライトが自動的に点灯して、被写体が暗くなりません。

6 ディナーも記念に

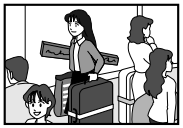


旅行先での豪華な食事。接写してもきれいに撮影できます。

7 買い物風景

ストリートショップでおみやげを購入。撮影禁止場所に注意しましょう。

8 帰国



帰国した様子を最後とし、シナリオを締めくくりましょう。

・「海外でお使いになるときは」（110 ページ）もお読みください。

ビデオ撮影のテクニックとコツ（つづき）

楽しみかた

お子様の元気な様子を鮮明に残しましょう

ポイント 1

プログラムは事前にチェックします。演技の順番や場所、スタートの位置を確認し、場所を選びます。

ポイント 2

運動会の当日だけではなく、前日の様子や始まる前、お昼休み中などの様子も撮影します。

ポイント 3

遠くから撮影する場合やオートでピントが合わないときは、手動で撮影する方法もあります。

2 運動会編

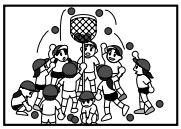
1 入場門

始まる前に、校舎やタレ幕、はしゃいでいる子供達の様子を撮ります。

2 入場行進

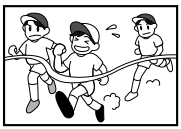
入場門の横で低い位置に構えて待ちます。人物の動きに合わせてゆっくり撮影。

3 玉入れ



空を一緒に撮ると、子供達が暗く写るので、高い位置からねらいます。

4 徒競走



ゴールに近い位置からズームインし、ズームアウトしながらゴールを。

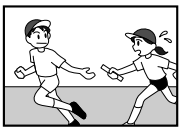
5 お昼の休憩

お弁当を食べている様子も撮りましょう。三脚を使うと全員入ります。

6 綱引き

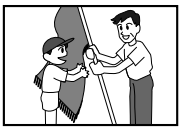
まず全員をズームアウトして撮り、お子様の顔や勝利の瞬間をアップで。

7 リレー



バトンタッチの少し手前で構え、走っている様子を追いかけます。

8 表彰式



喜びの表情、くやしい表情など、子供達の表情や全体を撮ります。

楽しみかた

一生の思い出になるように演出しましょう

ポイント 1

式次第を事前に確認し、司会者と打ち合わせをして式の流れを把握しておきます。

ポイント 2

会場を下見して、広さや照明、明るさ、電源などをチェックしておきます。

ポイント 3

長時間の撮影になるので、ACアダプターや三脚などを用意しておきます。

3 結婚式編

1 会場

フェードインなどを利用して会場の入口や立て札を撮影しましょう。

2 入場シーン

入場の少し前から撮影をスタート。入場の瞬間をしっかり狙います。

3 来賓の様子

新郎・新婦だけではなく、来賓の喜びの表情なども撮影しておきます。

4 ケーキカット

ウエディングケーキに入刀の際は、手元のアップも忘れずに。

5 余興

余興はズームアウトした全体イメージと、表情のアップを撮ります。

6 キャンドルサービス

ローソクのアップ、２人の表情、手元のアップ、来賓の顔などを撮ります。

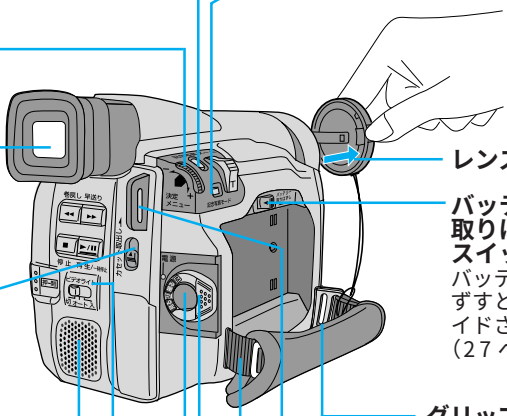
7 花束贈呈

花束のアップ、受け取っている様子、父親の涙などをズームインして。

8 送賓（お見送り）

お送りしている２人の表情からフェードアウトしてエンド。

各部のなまえとはたらき



記念写真ボタン
記念写真を撮るときに押します。
（42 ページ）

記念写真モードボタン
記念写真のモードを選びます。
（42 ページ）

メニューダイヤル
液晶画面およびファインダーの明るさ調節や、メニューの選択で使います。
（32、126 ページ）

ファインダー
撮影中、再生中に映像が映ります。ただし、液晶画面が開いているときは映像が映りません。
（33 ページ）

レンズキャップ

バッテリー取りはずしスイッチ
バッテリーを取りはずすときに左へスライドさせます。
（27 ページ）

カセット取出しスイッチ
カセットを出し入れしたいときに上へスライドさせて手でカセットカバーを開きます。
（29 ページ）

グリップベルト
（30 ページ）

スピーカー
再生すると音声が出ます。

ショルダーストラップ取り付け部
（31 ページ）

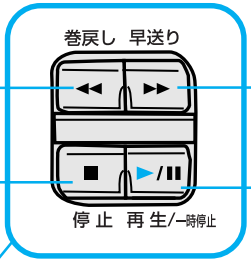
ビデオライトスイッチ
ビデオライトを使うときは、「オート」か「入」にします。
（45 ページ）

電源ダイヤル
（19 ページ）

スタート / ストップボタン
撮影の開始、一時停止をします。
（40 ページ）

巻戻しボタン
テープを巻き戻します。
（48 ページ）

停止ボタン
テープを停止します。
（48 ページ）

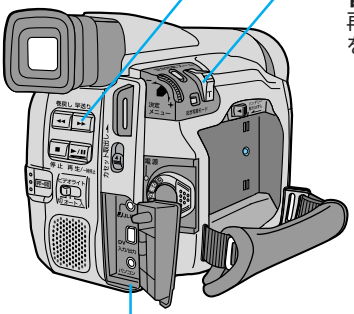


早送りボタン
テープを早送りします。
（48 ページ）

再生／一時停止ボタン
テープを再生または一時停止します。（48 ページ）

ズームスイッチ
映像のズームを行います。
（44 ページ）

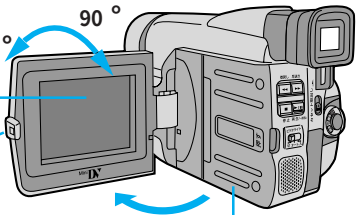
音量スイッチ
再生中はスピーカーの音量を調節します。(48ページ)



JLIP 端子
JLIP 対応機種をつなぐための端子です。別売のJLIPプレーヤーパックなどを使ってパソコンでビデオカメラを動かすときに使います。また自動編集するときも使います。（71 ページ）

DV 入力／出力端子（i-LINK*）
DV 端子付きのビデオ機器と接続します。
*i-LINK は、IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様です。
i は i-LINK に準拠した商品につけられるロゴマークです。(60、62、64ページ)

パソコン端子
パソコンに静止画を送るときに接続します。
（64 ページ）



液晶画面
撮影中、再生中に映像が映ります。
（40、48 ページ）

押開ボタン
液晶画面を開くときに押します。（40 ページ）

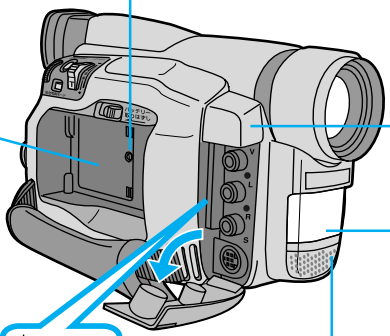
カセットカバー
カセットを出し入れしたいときにカセット取出しスイッチを上へスライドさせて手でカセットカバーを開きます。
（29 ページ）

各部のなまえとはたらき（つづき）

DC 入力端子
AC アダプターを電源として使うときに接続します。
（28 ページ）

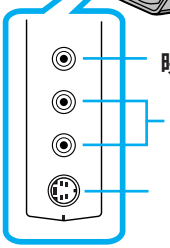
カメラセンサー
撮影に必要なセンサーが入っています。指などでふさがないようにしてください。

バッテリー取りつけ部
ここにバッテリーを取りつけます。
（27 ページ）



リモコン受光部
リモコンからの操作信号を受信します。ここにリモコンを向けて操作してください。
（34 ページ）

ビデオライト
ある一定の暗さになると自動で点灯します。
（45 ページ）



映像出力端子

音声出力端子 L（左）、R（右）

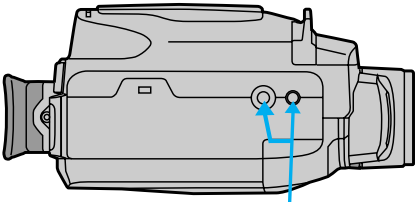
S 映像出力端子

ステレオマイク
音声がステレオで入力されます。
また、アフレコ編集で音声を吹き込みます。
（66 ページ）

●映像出力端子
映像信号を出力します。映像コードを使って、テレビやビデオデッキに接続します。（50、58 ページ）

●音声出力端子
音声信号を出力します。音声コードを使って、テレビやビデオデッキに接続します。（50、58 ページ）

● S 映像信号を出力します。（S、S 1、S2 端子に対応）
S 映像コードを使って、テレビやビデオデッキに接続します。（50、58 ページ）



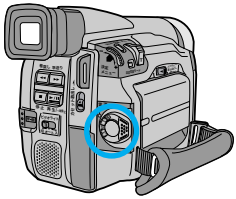
三脚取付け穴
三脚を取り付けるときに使用します。
三脚は不安定な状態で使用しないでください。

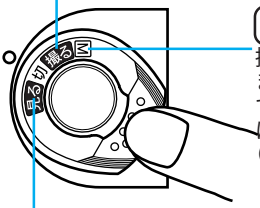
電源ダイヤル

電源ダイヤルには、「撮る」「見る」「M」「切」の４つのモードがあります。

撮る（フルオート撮影モード）
ビデオカメラの設定を何も行わなくても、ビデオ撮影がお楽しみいただけます。普通のスナップ撮影に最適のモードです。
（40 ページ）

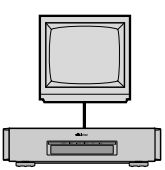
電源ランプ
「撮る」「見る」「M」でランプが点灯します。

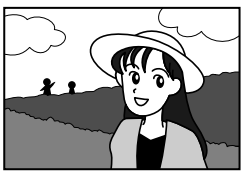


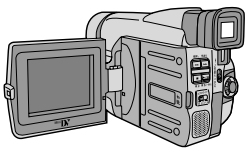


M（マニュアル撮影モード）
撮影方法を細かく設定することができます。フルオート撮影モードでの撮影では物足りなくなってきたときなどは、どんどんご活用ください。
（78 ページ）

見る（再生モード）
撮影した映像を再生するときにダイヤルを合わせます。
（48 ページ）

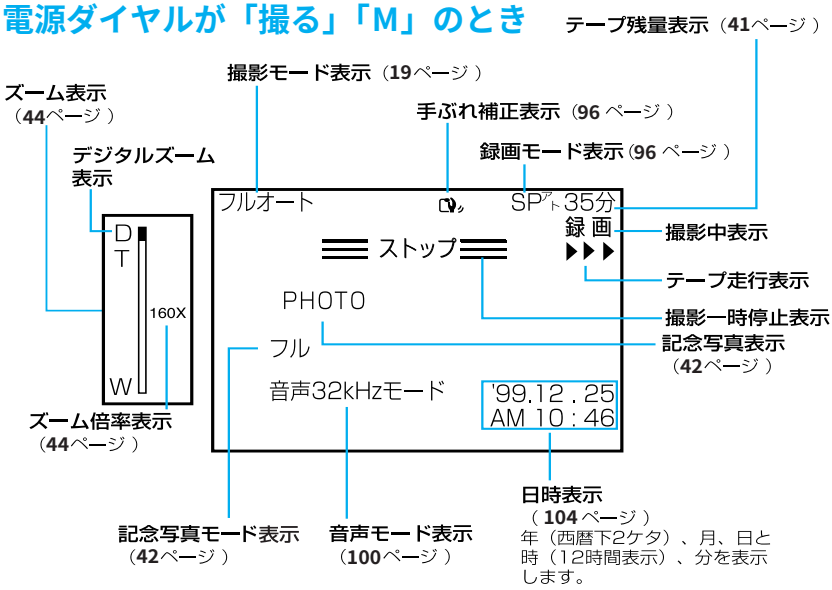




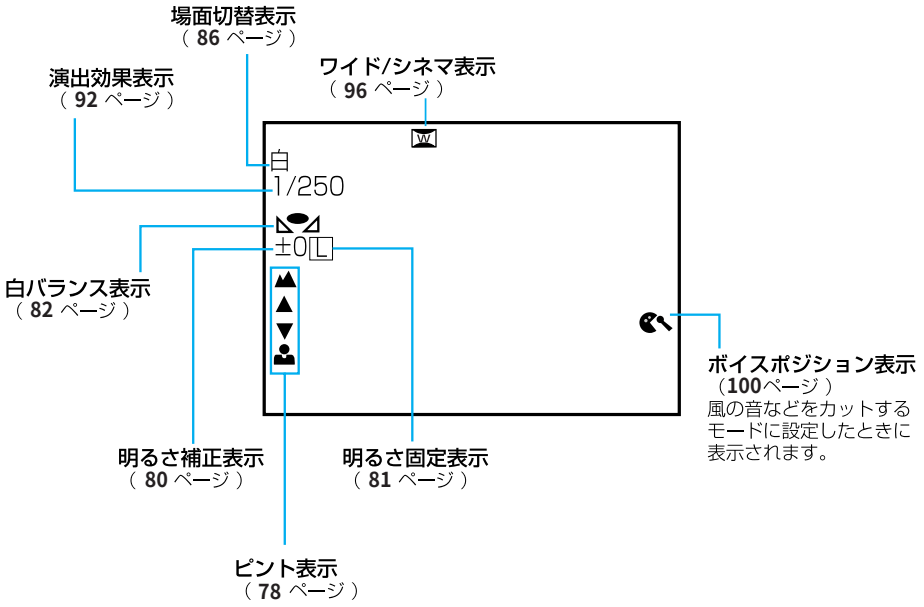


液晶画面とファインダー表示

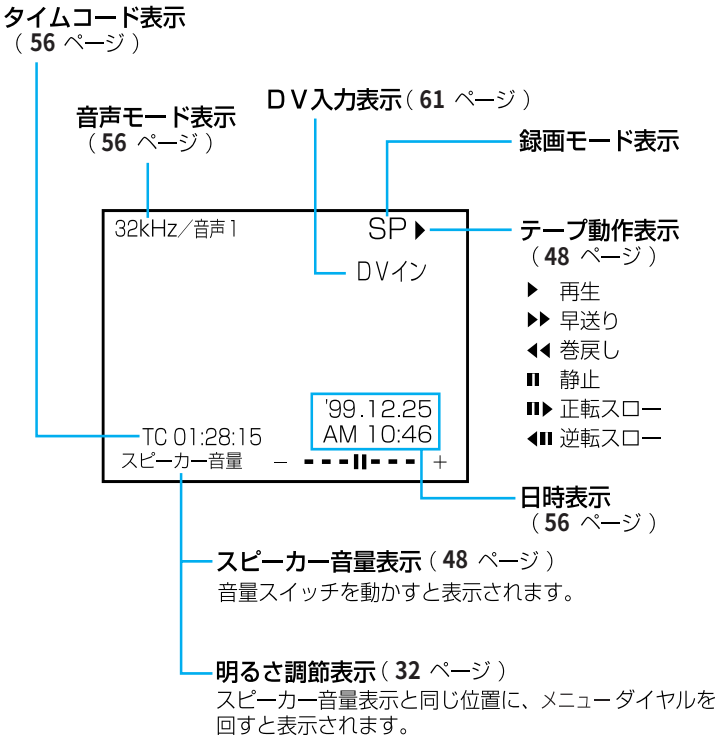
■ 電源ダイヤルが「撮る」「M」のとき



■ 電源ダイヤルが「M」のときのみ



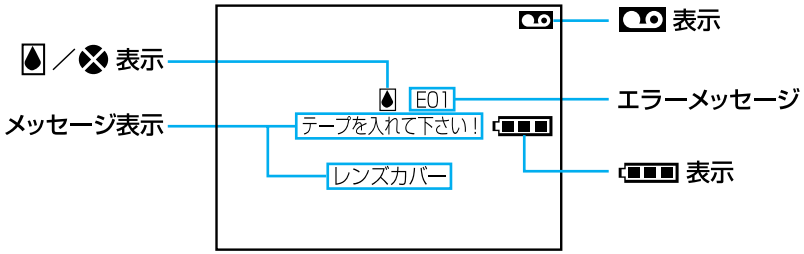
■ 電源ダイヤルが「見る」のとき



●タイムコードと日時はメニューにて表示の入／切を設定することができます。
（56 ページ）

●TV画面に映る表示を消すことができます。
（101 ページ）

お知らせ表示



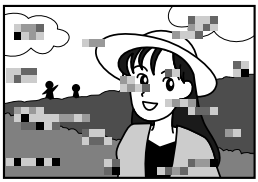
表示	表示内容	参照
	バッテリーの残量を表示します。 残量大 → → → 残量なし バッテリーが少なくなると が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。	—
	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます。	—
	撮影中に、ヘッドにゴミが付いていると表示されます。	23
	つゆつきが発生したときに表示されます。ビデオカメラは自動的に停止します。	123
テープを入れて下さい！	カセットが入っていないときに、電源ダイヤルを「撮影」に合わせると約10秒間表示されます。	—
テープオワリ	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
レンズカバー	レンズキャップがレンズについていると表示されます。	—
E01〜06	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 E01〜06が表示されるとビデオカメラは自動的に停止します。 バッテリーなどの電源を外してください。数分待ち、再び電源を入れてください。2、3度くり返しても表示が消えないときは、お買い上げ販売店か、ビクターサービス窓口にご相談ください。	109

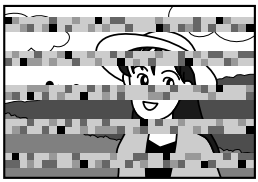
日常のお手入れ

ポイント

・撮影中にヘッド目づまり表示 ⊗（22 ページ）が出る
・再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）
・再生すると、映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）になる
・再生すると、映像に黒色やモザイク画の横しまが出る

こんなときは、ヘッドが汚れています。





このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー（M-DV2CL）テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。

定期点検を行ってください

ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間1000 時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。（112 ページ）

注意

●M-DV2CLを長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラでM-DV2CL を再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します）

●ヘッドクリーナーでクリーニングしても鮮明な映像が映らないときはヘッドが摩耗していたり、汚れがひどかったりテープに傷がついている場合があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

⚠注意

●お手入れするときは、バッテリーをはずす、またはDCコード、電源プラグを抜いてください。

・電源が「切」でも、機器に電源が流れていますので、感電の原因となることがあります。

⚠警告

●電源プラグにほこりや金属物を付着させないでください。

・ほこりや金属物を伝わって電流が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。

・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

注意

●ベンジンやシンナーは使用しないでください。ボディの損傷や故障の原因になります。

■ 本体の汚れを取る

バッテリーやACアダプターを外して電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

・汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

・ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。

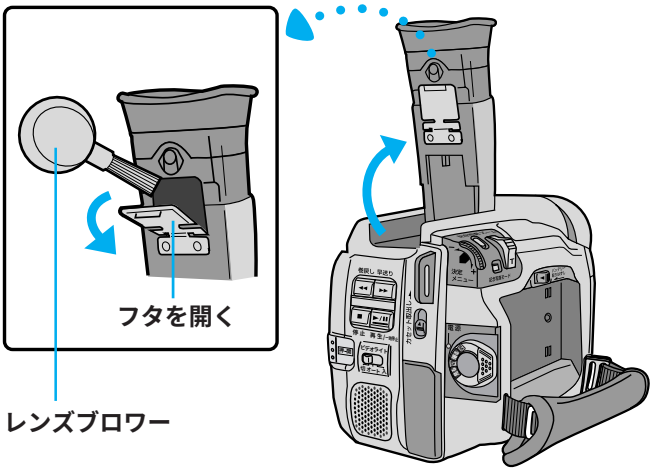
■ レンズや液晶画面の汚れを取る

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のレンズクリーニングペーパー等で汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ ファインダー内部の汚れを取る

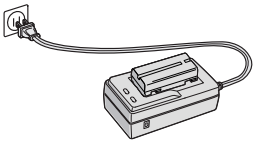
ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー底面のフタを開け、レンズブロワーでゴミ、汚れを取ってください。

終わったらファインダー底面のフタを確実に閉め、ファインダーをもとに戻します。



準備

●バッテリーの充電（26ページ）



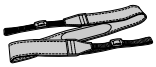
●バッテリーの取りつけかた（27ページ）

●グリップベルトの合わせかた（30ページ）

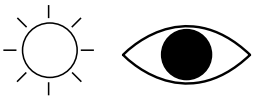
●コンセントの使用（28ページ）

●カセットの入れかた（29ページ）

●ショルダーストラップの取りつけかた（31ページ）



●画面の明るさ、ファインダーの視度調節（32、33ページ）



●リモコンの使いかた（34ページ）

バッテリーを充電する

ポイント

●バッテリーは出荷時は充電されていません。ACアダプターで充電してからお使いください。

●充電時間の目安（室温 10℃～35℃）	バッテリー（BN-V207）で約90分 バッテリー（BN-V214）で約180分

●充電できない！
AC アダプターに DC コードが接続されていると充電できません。

●充電しても撮影時間が短い！
寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

⚠警告

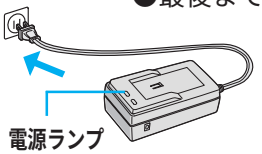
●電源プラグが不完全な接続状態で使用しないでください。接続不良で発熱し、火災や感電の原因となります。

⚠危険

●バッテリーを充電するときは、指定の AC アダプターをご使用ください。性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

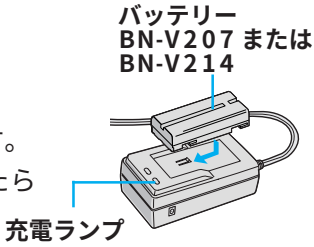
1 電源コードをコンセントに差し込む

●電源ランプが点灯します。
●最後までしっかりと接続してください。



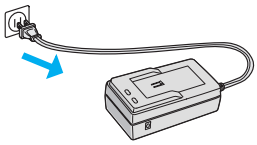
2 バッテリーを取りつける

●充電ランプが点滅します。
●点滅から点灯に変わったら充電完了です。



3 バッテリーをはずす

●次に電源コードもはずします。

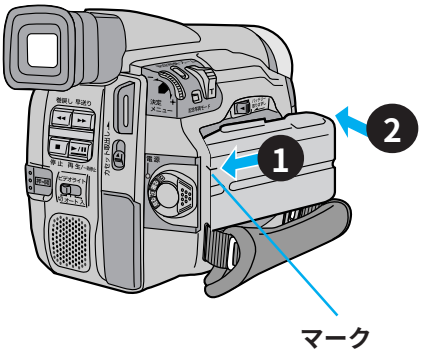


バッテリーを取りつける

■バッテリーの取りつけかた

1

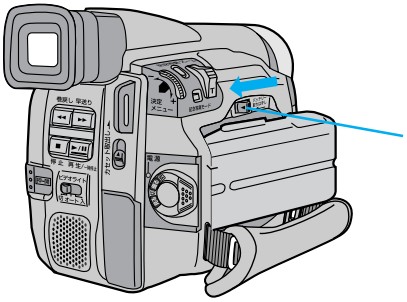
❶ バッテリーについているマークと本体のマークを合わせる
❷ カチッと音がするまで押し込む



■バッテリーの取りはずしかた

1

「バッテリー取りはずし」スイッチを左にスライドさせると、バッテリーがはずれます。



⚠注意

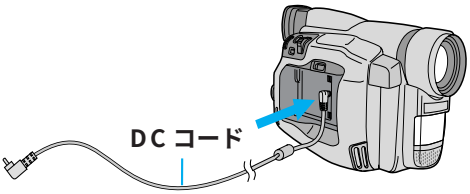
●使用しないときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜いてください。
電源が「切」でも、本機に電源が流れていますので、安全のためにお守りください。

注意

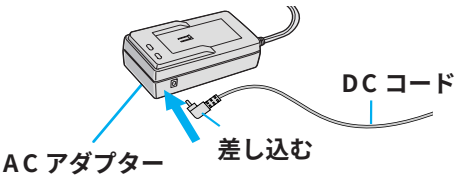
●バッテリーを保存するときはキャップに取りつけておいてください。

コンセントにつないで使う

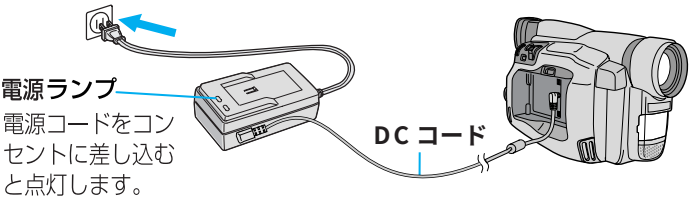
1 DC コードをビデオカメラの DC 入力端子に差し込む



2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む



3 電源コードをコンセントに差し込む



⚠注意

●移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずしてください。接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

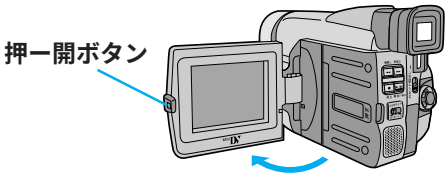
注意

●バッテリーの充電中にDCコードをACアダプターに差し込むと、充電は中断されます。

●ACアダプターが、温かくなることがあります。

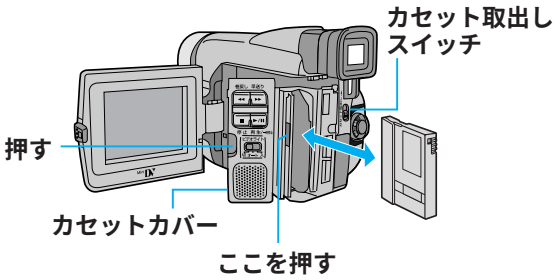
カセットを入れる

1 「押一開」ボタンを押しながら液晶画面を開く



2 「カセット取出し」スイッチを上にスライドさせながら、カセットカバーを手で開ける

●自動的にカセットホルダーが開きます。



3 カセット（別売）を入れて「ここを押す」を押す

●カセットは奥まで確実に入れてください。
●自動的にカセットホルダーが収納されます。

4 カセットカバーの「押す」を押してカセットカバーを閉じる

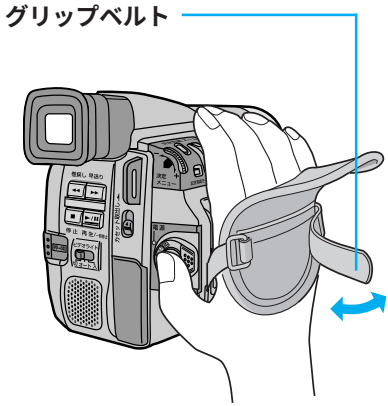
●カセットを取り出すときは
手順 2 のあとで取り出してください。

注意

●バッテリー、またはＡＣ アダプターをつないでから手順を行ってください。
●カセットホルダーが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いてカセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。
●カセットの出し入れ口に手を入れないでください。

グリップベルトを手に合わせる

1 手の大きさに合わせて、グリップベルトを調節する



2 パッドをはりつける

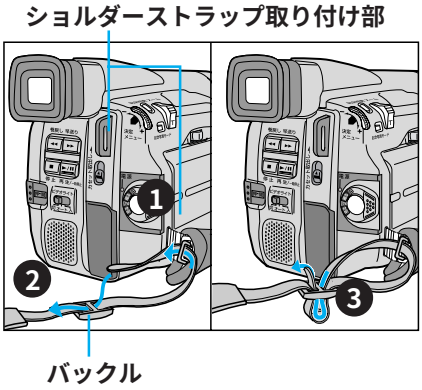
ショルダーストラップを取りつける

1

❶ショルダーストラップを取り付け部に通す

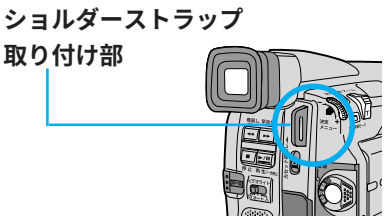
❷バックルに通す

❸ストラップの長さを調節する



2

もう一方についても同様に❶～❸を繰り返す



⚠注意

●ショルダーストラップを引っぱり、確実に取り付けられたか確認してください。正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

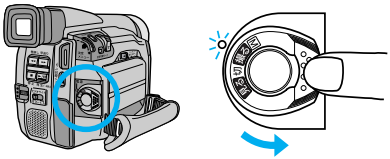
画面の明るさを調節する

●ファインダーの明るさを調節する場合は、液晶画面を閉じて１と３の手順を行ってください。

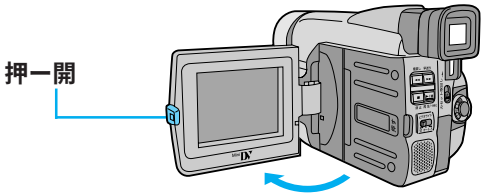
●液晶画面やファインダーの明るさを調節してから、撮影や再生を行ってください。

1 電源ダイヤルを「撮る」に合わせる

●電源ランプが点灯し電源が入ります。



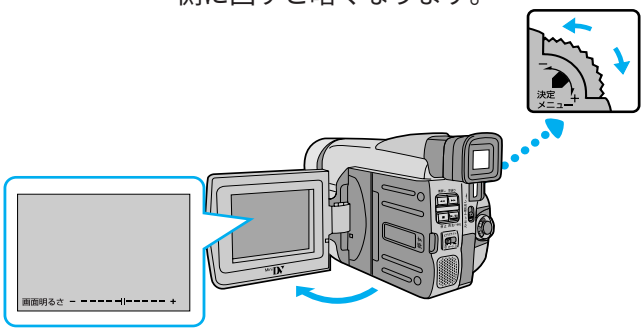
2 「押一開」ボタンを押して液晶画面を開く



3 メニューダイヤルを回す

●画面の明るさを調節します。

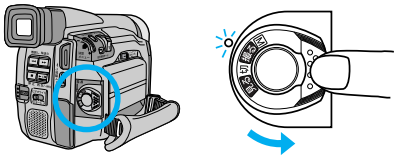
●＋側に回すと明るくなります。
　－側に回すと暗くなります。



ファインダーの視度を調節する

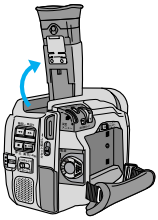
1 電源ダイヤルを「撮る」に合わせる

●電源ランプが点灯し電源が入ります。

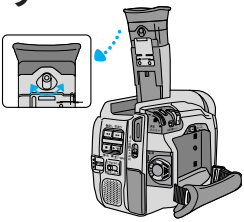


2 ファインダーを上げる

●約 90 ° 動かす
ことができます。



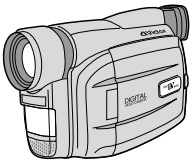
3 ファインダーをのぞいて、表示がよく見える位置に、視度調節レバーを動かす



ファインダー内の表示が
良く見えるように調節する

注意

●ファインダーの視度調節をする場合は、液晶画面を閉じます。



リモコンの使いかた

楽しみかた

リモコンを上手に使いこなしましょう

ポイント 1

リモコンを使えば、被写体だけではなく、カメラマンも一緒に写ることができます。

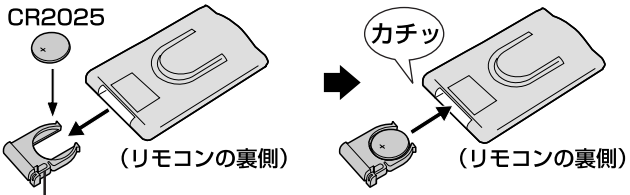
ポイント 2

液晶画面やビデオデッキで再生するときに、巻き戻しや再生が簡単にできます。

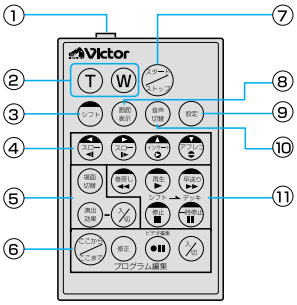
ポイント 3

再生時、スローやズームイン、セピア色にするなどの演出ができます。

■ 電池の入れかた

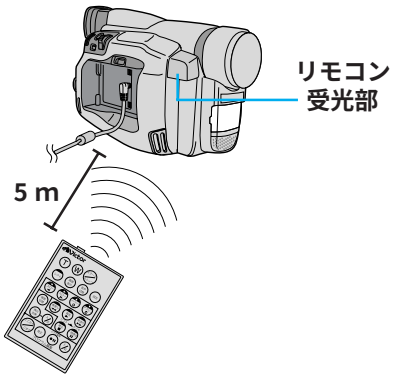


1. つまみを内側に押しながらホルダーを引き出す
2. 電池を＋側を上にして入れる
3. ホルダーをカチッと音がするまで押し込む



⚠警告 指定以外のボタン電池は使わないでください。

■ リモコンの使いかた



操作範囲は屋内で約5mです。ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

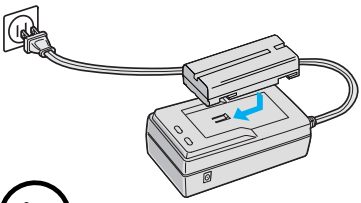
	ボタン名	ボタンの機能	参照ページ
①	リモートポーズ（入力）端子	編集コードでビデオカメラを接続します。	71
②	Ⓣ【T】ズームボタン Ⓦ【W】ズームボタン	【T】を押すと映像が大きくなります。 【W】を押すと映像が小さくなります。	44 52
③	シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かすときに、押します。また、ビデオデッキを操作するときに押します。	52、69
④	スロー(逆転)ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生します。 また、再生ズームした映像を左に動かします。	49、52
	スロー(正転)ボタン/右ボタン	テープをスローで再生します。 また、再生ズームした映像を右に動かします。	49、52
	インサートボタン*/上ボタン	再生ズームした映像を上に動かします。	52
	アフレコボタン/下ボタン	ビデオのアフレコ編集を行います。 また、再生ズームした映像を下に動かします。	52、66
⑤	場面切替ボタン	ビデオの自動編集中に使用したい場面切替効果を選択します。	72
	演出効果ボタン	ビデオの再生中や自動編集中に使用したい演出効果を選択します。	53、72
	演出効果入/切ボタン	ビデオ再生映像に演出効果するときに押します。	53
⑥	ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定するときに使用します。	72
	修正ボタン	自動編集を修正するときに使用します。	73
	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオを録画停止にします。	74
	入/切ボタン	自動編集をするときに押します。	72
⑦	スタート/ストップボタン	撮影のスタート/ストップを行います。	—
⑧	画面表示ボタン	テレビに出てくるメッセージを出したり、消したりします。	59、73
⑨	設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定します。	69
⑩	音声切替ボタン	再生時の音声を切り替えます。	56
⑪	巻戻しボタン	巻き戻すときに押します。	—
	再生ボタン	再生するときに押します。	—
	早送りボタン	早送りするときに押します。	—
	停止ボタン	停止するときに押します。	—
	一時停止ボタン	一時停止するときに押します。	—

＊インサートボタンは働きません。

準備完了！

ポイント 1

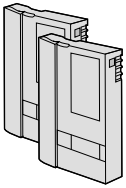
■ バッテリー充電完了！



バッテリーは、撮影予定時間の約 3 倍分をご用意されることをおすすめします。

ポイント 2

■ カセットの用意完了！



余裕をもった本数を準備しましょう。

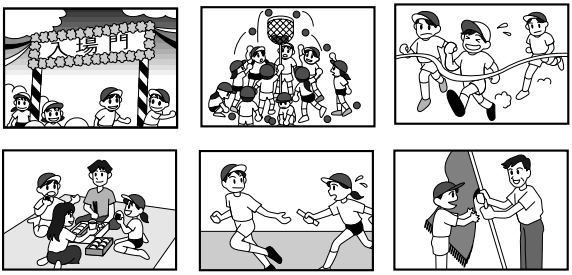
ポイント 3

■ リモコンの動作確認

ビデオカメラが動作するかどうかを確認しておきましょう。

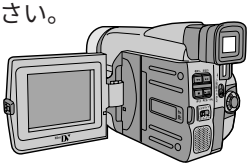
ポイント 4

■ シナリオを考えておく



⚠警告

持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たないでください。

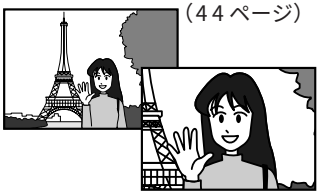


撮る

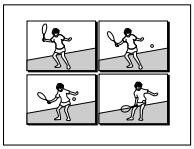
●撮影の基本
（38ページ）

●簡単な撮影のしかた
（40ページ）

●ズームして撮影する
（44ページ）

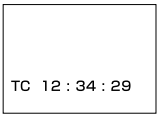


●記念写真を撮る
4マルチモード（42ページ）



●暗い場所で撮影する
（45ページ）

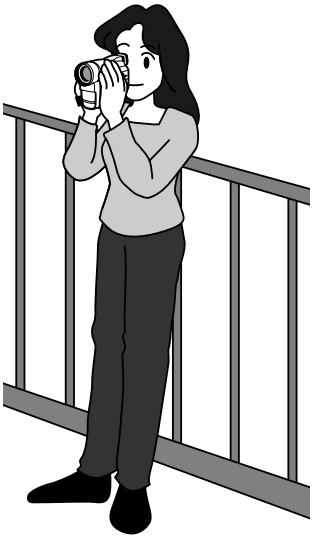
●タイムコードについて（46ページ）



撮影の基本（上手に撮る姿勢）

ポイント 1

わきをしめて、左手もビデオカメラにそえる。



ポイント 2

壁や柱によりかかり、安定させる。

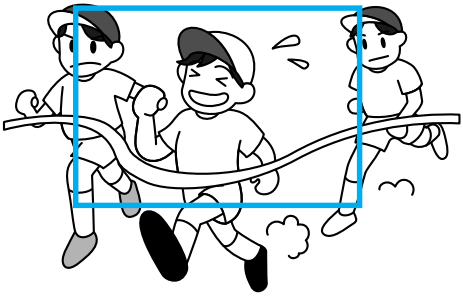
ポイント 3

低い姿勢で撮影するときも、わきをしめて、両手でビデオカメラを持つ。液晶画面を上に向けたり、ファインダーを上に向けて撮影すれば地面に咲いている花なども撮影できます。子供を撮るときは低い姿勢で子供の目線で撮りましょう。

ポイント 4

高い位置から撮影する場合は、液晶画面を下に向けて、撮影する。

ポイント 5



安定した映像で撮影するためには、ビデオカメラを固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）や上下に動かすとき（チルディング）は、ゆっくり動かします。撮り始めと撮り終わりは、ピタッと止めます。

ポイント 6

液晶画面は上に 180 °、下に 90 °回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます（対面撮影）。液晶画面を開いて 180 °回転させ前に向けてください。レンズをご自分に向ければ、ビデオ日記などを撮影するときに役立ちます。

ポイント 7

三脚（別売）に取り付けると、安定した撮影ができます。

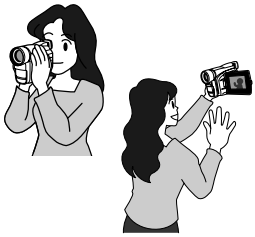
簡単な撮影のしかた

楽しみかた

液晶画面を見ながら撮影する方法と、ファインダーを使う 2 通りの方法があります

ポイント 1

フルオート撮影モードなら、ビデオカメラの設定を何も行わなくても誰でも簡単に撮影できます。



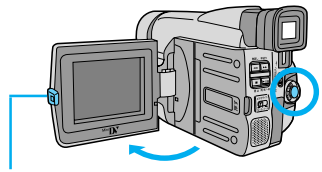
ポイント 2

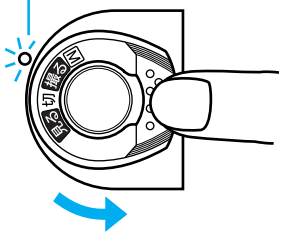
液晶画面を180 °回転させれば、カメラマン自身を撮影することができます。また、リモコンを使えばビデオカメラから離れて撮影することもできます。

「撮る」と「M」：撮影モードには、フルオート撮影モード「撮る」と、マニュアル撮影モード「M」があります。

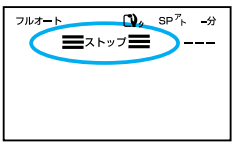
1 電源ダイヤルを「撮る」に合わせ、「押一開」ボタンを押しながら、液晶画面を開く

●ファインダーで撮影する場合は、液晶画面を閉じます。





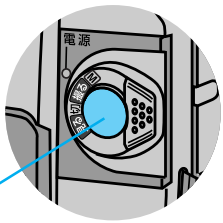
撮影中の画面



撮影一時停止の画面

2 「スタート／ストップ」ボタンを押す

●再度押すと撮影一時停止になります。



スタート／ストップボタン

1回押す = スタート
再度押す = ストップ

■ 連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V207	60分（30分）	50分（25分）
BN-V214	140分（70分）	115分（60分）

（　　）はビデオライト使用時

●連続撮影時間は、ズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約3倍分をご用意されることをおすすめします。
連続して撮影するにはBN-V856をおすすめします。BN-V856では、ファインダー使用時に510分（270分）、液晶画面使用時に420分（240分）の連続撮影をすることができます。BN-V856はVU-V856KITに同梱されています。

■ 実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V207	40分	30分
BN-V214	80分	60分

●実撮影時間は撮影、一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

●5分以上撮影を一時停止したときは
ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、電源ダイヤルを一度「切」にしてから「撮る」または「M」に戻してください。

●液晶画面が見づらいときは
光の反射などで液晶画面が見づらいとき、液晶画面を閉じてファインダーをのぞいて撮影することをおすすめします。液晶画面とファインダーは同時に使用できません。

●LPモードで撮影すると
LPモードはSPモードに比べてテープの送り速度が遅くなるため、同じテープでも1.5倍長く撮影することができます。ただし、撮影後にアフレコ編集できなくなります。お買い上げになった状態では、録画モードがSPモードに設定されています。98ページをご覧になり、必要に応じて録画モードを変更してください。

●テープの残量を確認するには
撮影中は、自動的にテープの残量が表示されます。テープ残量は目安としてお使いください。使用するテープによっては正しく表示されないことがあります。また、80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示をするまでに時間がかかったりすることがあります。テープの残量が残り2分となると表示が点滅し、テープが終わると「テープオワリ」と表示されます。

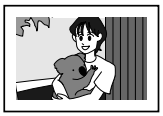
●バッテリー残量表示（ ）が点滅したらバッテリーの残量が少なくなっています。バッテリーの残量がなくなると自動的に電源が切れます。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

記念写真を撮る

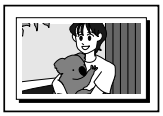
楽しみかた

フルモード

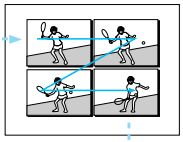
フレームモード



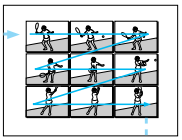
ピンナップモード



4マルチモード



9マルチモード

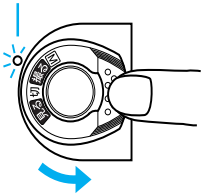


静止画を撮る

ビデオ映像の中に、写真のような静止画を挿入することができます。被写体の表情をワンポイントで記録したいとき、コマ送りのようにしたいときなどに効果的です。

1 電源ダイヤルを「撮る」に合わせる

電源ランプ点灯

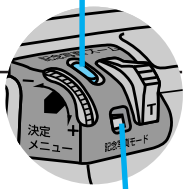


2 「記念写真モード」ボタンを押して、お好みの静止画モードを選ぶ

フレーム

●ボタンを押すたびに静止画モード表示が切替わります。

記念写真ボタン



記念写真モードボタン

3 「記念写真」ボタンを押す

●静止画像が約 6 秒間記録されます。

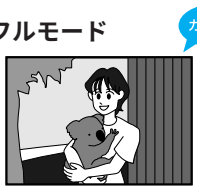
●押し続けると静止画像を約 1 秒ごとに連写します。

●**撮影中に記念写真を撮影したとき**
静止画像が約 6 秒間記録され、通常の撮影に戻ります。

●**再生中に記念写真ボタンを押したとき**
再生映像が約 6 秒間、静止して通常の再生に戻ります。

■ 各モードの特長と楽しみかた

フルモード



素敵な表情を画面いっぱいに残したいときに最適です。
「カシャッ」というシャッター音が鳴ります

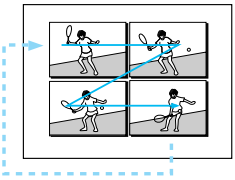
フレームモード

フレームに入れたような雰囲気を演出します。
「カシャッ」というシャッター音が鳴ります

ピンナップモード

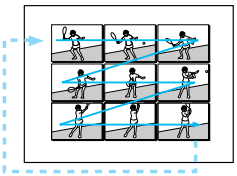
白ワクに黒い影をつけた静止画です。壁に額を飾っているように、立体的に見せます。
「カシャッ」というシャッター音が鳴ります

4 マルチモード



静止している映像を 4 分割画面にして撮影したり、動きのある映像を4分割で連続コマ撮影します。テニスのスウィングなどを撮影すると効果的です。

9 マルチモード



静止している映像を 9 分割画面にして撮影したり、動きのある映像を9分割で連続コマ撮影します。テニスのスウィングなどを撮影すると効果的です。

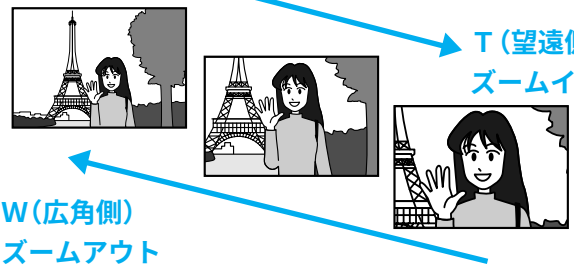
注意

- 演出効果（シャッター除く）が設定されているときは、4 マルチ、9 マルチモードで撮影できません。
- 記念写真撮影ができないときは、記念写真ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。
- 演出効果を設定していても記念写真撮影時に働かないものがあります。このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。

ズームして撮影する

楽しみかた

ズームを上手に使いこなしましょう



T（望遠側）
ズームイン

W（広角側）
ズームアウト

撮影中に被写体をズームすることができます。被写体が遠いところにいるときや、画面に変化を付けたいときなどにご利用いただけます。

●**フルオートモードでのズーム：**
64倍までズーム可能

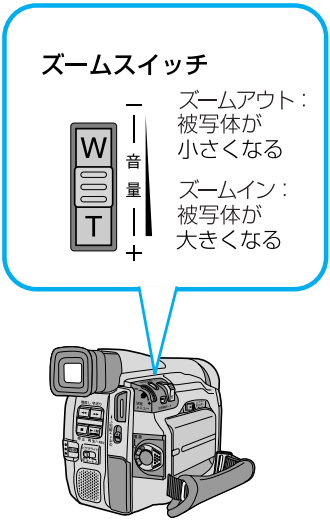
●**マニュアルモードでのズーム：**
最大160倍までズーム可能

●**16倍以上のズーム：（デジタルズーム）**
16倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。（デジタル処理をするため）

●**接写したいとき（マクロ撮影）**
W側にいっぱいまで押すとレンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影可能。T側のときは、約1m。（ピントが合わない距離では▲・▲・▼・が点滅して自動的にズームがW側になります。）

1 ズームスイッチを上下に動かす

●軽く動かすとゆっくりズームし、強く動かすと早くズームします。



注意 ズームを使い過ぎると、見づらい映像になります。

16倍以上のズームが使用できない
映像をデジタル処理する機能（ゴースト、オーバーラップなど）との併用はできません。

暗い場所で撮影する

楽しみかた

こんな場所での撮影にお使いください

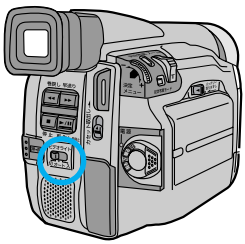
キャンドルサービスなど、ろうそくの灯りしかない場合

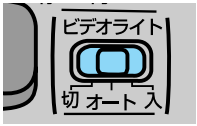
カラオケルームなど、うす暗い場所

1 ビデオライトスイッチを設定する

●ビデオライトスイッチをお好みの位置に合わせます。

「オート」:一定の暗さになると点灯します。
「入」　　:常にライトが点灯します。
「切」　　:常にライトが消灯します。





ビデオライトスイッチを「オート」に設定していても、演出効果で「夜景」を設定しているときは、ビデオライトが点灯しません。

注意

●点灯中や消灯直後、ビデオライトは熱くなっています。手で触れたり物を近づけないでください。

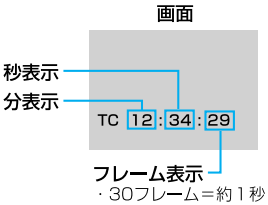
●小さなお子様の目などに、直接ライトの光が入らないよう注意してください。

●バッテリーを長持ちさせるために、撮影しないときはライトスイッチを「切」にしてください。
室内ではACチャージャーを使用することをおすすめします。

TC01:28:15 タイムコードについて

■ タイムコードとは

撮影中、ビデオカメラはテープの１コマ１コマにタイムコードと呼ばれる数字を記録していきます。タイムコードはテープの再生や編集の際に、映像の位置を確かめる目安になります。自動編集（72 ページ）などはタイムコードを利用して行います。



タイムコードは再生時に表示されます。

テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります

テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」（分:秒:フレーム）から新たにタイムコードを記録していきます。１本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などの誤動作の原因になります。

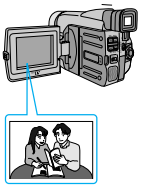
次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。

- 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
- 使い切っていないテープをビデオカメラから出し入れして撮影するとき
- 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき

●早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。

見る

●液晶画面で見る
（48 ページ）



●テレビ・ビデオデッキに接続して見る
（50 ページ）

●再生映像をズームする
（52 ページ）

●再生映像に演出効果を加える
（53 ページ）

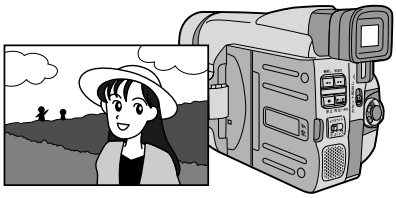
●再生メニューの設定を変更する
（54 ページ）

48kHz音声切替	フル音声
32kHz音声切替	音声1
シンクロ補正	0.0
シンプル表示	切
日時表示	入
タイムコード	切
メニュー終了	

液晶画面で見る

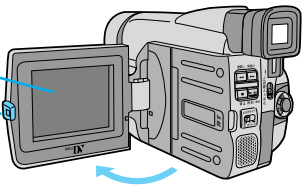
楽しみかた

撮影した映像をその場ですぐ見ることができます



ビデオカメラの液晶画面で再生映像を見ることができます。撮ったその場で映像を確認したいときなどにご利用ください。

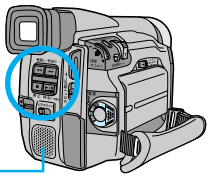
1 「押一開」ボタンを押しながら液晶画面を開く



2

電源ダイヤルを回して「見る」に合わせる

3 「巻戻し」ボタンを押してテープを巻き戻し、「再生」ボタンを押す



4 再生をやめたいときは、「停止」ボタンを押す

●再生すると、音声がスピーカーから出ます。
●音量（ズーム）スイッチで音量を調節してください。

■ いろいろな再生のしかた

リモコンを使うと、簡単に再生できます。また、スロー再生やコマ送り再生、演出効果（53 ページ）などが楽しめます

こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻す
・画面を見ながら早送りして探し見したい（早送り再生）9倍速	再生中に 早送り ▶▶	1度ポンと押す	▶/II 再生 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい（巻戻し再生）9倍速	再生中に 巻戻し ◀◀	1度ポンと押す	▶/II 再生 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を一時停止させて見たい（静止画再生）	再生中に 一時停止 II ▶/II		▶/II 再生 再生ボタンを押す
・スローで再生したい（スロー再生）	静止画再生中に（リモコンで操作） スロー ◀ スロー ▶ どちらか一方を押す		▶/II 再生 ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す 正転スロー再生を約2分、または逆転スロー再生を約1分続けると自動的に通常再生に戻ります。
・コマ送りで再生したい（コマ送り再生）	静止画再生中に（リモコンで操作） 一時停止 II 押すたびにコマ送りします		▶/II 再生 ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す

●静止画再生を約 3 分以上続けると自動的に停止します。
●高速再生、スロー再生中は多少モザイクのかかったような映像になります。また、音声は出ません。
●スローボタンを押すと数秒間静止画になり、その後青い静止画（ブルーバック）が数秒間表示されるときがあります。故障ではありません。
●コピーガードが付いているテープは再生できません。画面はブルーバック（青い画面）になります。
●停止状態を約 5 分以上続けると電源が自動的に切れます。ただし、電源ダイヤルが「見る」の時、AC アダプターから電源を供給していると、電源が切れません。
●静止画にするために再生／一時停止ボタン（またはリモコンの II ）を押しても映像が静止するまでに多少時間がかかることがあります。この間にリモコンの II を押すと、スロー再生になります。

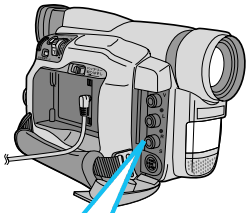
テレビ・ビデオデッキに接続して見る

楽しみかた

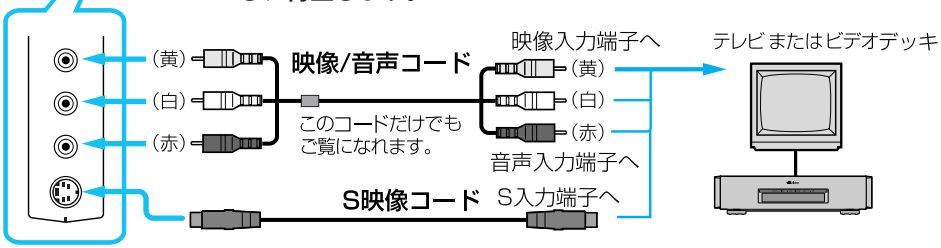
テレビやビデオデッキに接続して、みんなで見ましょう

みんな揃ってビデオを楽しみたいときなど、ビデオカメラをご家庭のテレビやビデオデッキにつないで再生することができます。S映像端子付きのテレビまたはビデオデッキと本機を S 映像コードを使ってつなぐと、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

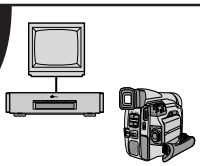
■ 接続のしかた



接続後、テレビあるいはビデオデッキを「外部入力」に設定し、再生します。



1

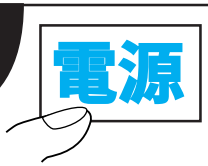


ビデオカメラをテレビまたはビデオデッキに接続する

2

電源ダイヤルを「見る」に合わせる

3



テレビ、またはビデオデッキの電源を入れる

4 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

●ビデオカメラをテレビに接続したとき

テレビの入力モードをビデオカメラを接続した端子に切り替えます。(例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ムービー」など)。

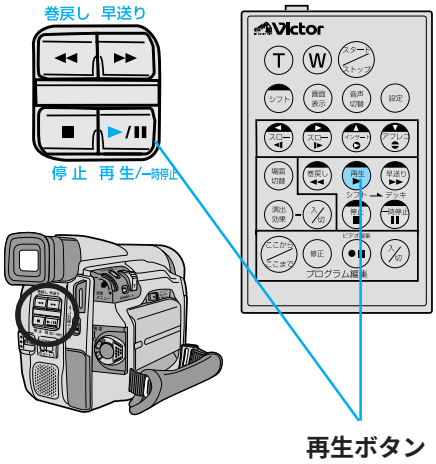
入力切換

●ビデオカメラをビデオデッキに接続したとき

テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に切り替えます。

外部入力

5 「再生」ボタンを押す



注意

●電源は必ず接続後に入れてください。電源を入れたまま接続を行うと、機器の故障の原因になります。

●映像／音声コードは必ず付属されているものをお使い下さい。

●急に大きな音が出たりしないように、テレビの音量は最小にしておいてください。

●ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。

●テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは、テレビからビデオカメラを離すかテレビの音量を下げてください。

●日時やタイムコードなどテレビに映る表示を消すことができます。(56 ページ)

再生映像をズームする

楽しみかた

再生ズームして楽しめます

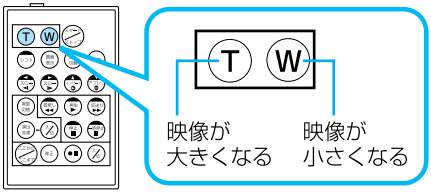
撮影するときにズームインしていない場合でも、リモコンを使えば、再生映像を 10 倍までズームインすることができます。
また、ズームインする場所を上下左右に変えることができます。

●ズームをやめたいときは、通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に、再生ボタンを押します。

●ズームしたときの映像は通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。

●再生映像に「ゴースト」（53 ページ）を加えたときはズーム中でも通常再生画面に戻ります。

1 ビデオカメラの再生中にリモコンの「T」（または「W」）を押す

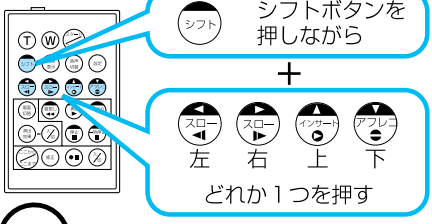


静止画再生／スロー再生中もズームできます。

通常再生

ズーム再生
（10 倍まで）

2 ズームする場所を変えるには「シフト」ボタンを押しながら「上下左右」ボタンを押す



ズーム中に上下左右に移動できます。

ズーム再生

画面移動

再生映像に演出効果を加える

楽しみかた

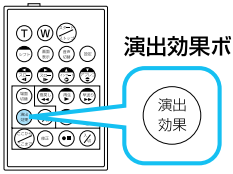
映像をいろいろ演出しましょう

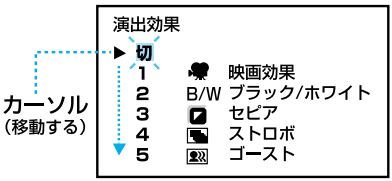
- 映画のような雰囲気のある映像にします。
- カラーの映像をセピア色にします。
- 被写体を重ね合わせた映像にします。
- B/W カラーの映像をモノクロ映像にします。
- ストロボ撮影したような映像にします。

1 「演出効果」ボタンを押す

●ボタンを押すごとに設定が切り替わります。

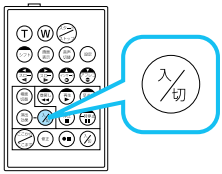
選択して約2秒後
↓
画面が消える
↓
選択した演出効果が加えられます。





2 「演出効果入／切」ボタンを押して演出効果を止める

●ボタンを押すごとに演出効果が入／切します。



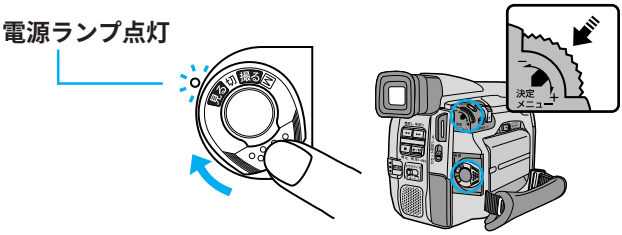
再生メニューの設定を変更する

●メニューの各項目についての説明は 56 ページをご覧ください。

■ 再生メニューの設定方法

1 電源ダイヤルを回して「見る」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。

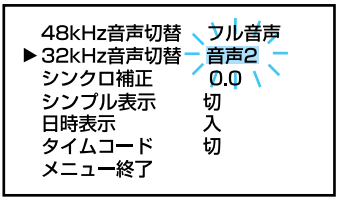


2 メニューダイヤルを回して「お好みの項目」に合わせ、メニューダイヤルを押す

48kHz音声切替	フル音声
▶32kHz音声切替	音声1
シンクロ補正	0.0
シンプル表示	切
日時表示	入
タイムコード	切
メニュー終了	

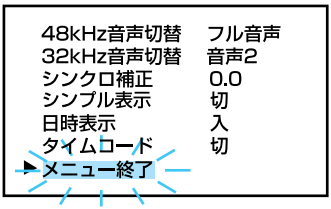
48kHz音声切替	フル音声
▶32kHz音声切替	音声1
シンクロ補正	0.0
シンプル表示	切
日時表示	入
タイムコード	切
メニュー終了	

3 メニューダイヤルを回して「お好みの設定」に合わせる



4 メニューダイヤルを押す

●選択が確定し、カーソルが自動的に「メニュー終了」へ移動します。



5 メニューダイヤルを押す

●メニューを終了し、通常の画面に戻ります。

再生メニューの設定を変更する（つづき）

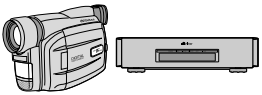
■ 再生メニューについて

項　目	概　要	設定内容
48kHz 音声切替	・「フル音声」：撮影時の音声がステレオ音声で再生されます。 ・「音声 1」　：左（L）の音声が再生されます。 ・「音声 2」　：右（R）の音声が再生されます。	フル音声／音声 1／音声 2
32kHz 音声切替	・「フル音声」：撮影時の音声とアフレコ音声が同時にステレオ音声で再生されます。 ・「音声 1」　：撮影時の音声がステレオ音声で再生されます。 ・「音声 2」　：アフレコ音声がステレオ音声で再生されます。	フル音声／音声 1／音声 2
シンクロ補正	・自動編集時にビデオデッキの録画タイミングを補正します。（76 ページ）	-1.3 ～+ 1.3 0
シンプル表示	・「入」：再生時、「音声モード」、「日時」、「タイムコード」を画面に表示しません。再生メニューの「日時表示」、「タイムコード」を「入」に設定していても表示しません。 ・「切」：再生時、「音声モード」、「日時」、「タイムコード」を画面に表示します。再生メニューの「日時表示」、「タイムコード」「切」に設定しているときは表示しません。	入　／　切
日時表示	・ビデオ撮影時、撮影した日時が自動的にテープに記録されます。再生時、日時表示を消して再生することができます。 ・「入」：日時が画面に表示されます。 ・「切」：日時が画面に表示されません。	入　／　切
タイムコード	・ビデオ撮影時、タイムコード（46 ページ）が自動的にテープに記録されます。再生時、タイムコードを表示させて再生することができます。 ・「入」：タイムコードが画面に表示されます。 ・「切」：タイムコードが画面に表示されません。	入　／　切

・最初に設定されている内容は、　　で示してあります。
・設定方法は 54 ページに説明しています。
・再生中の音声モードはビデオカメラが自動判別し、画面の左上に表示されます。（早送り／巻き戻し再生中は自動判別できません。）
・再生時の音声は、リモコンの音声切替ボタンでも切り替えることができます。ボタンを押すたびに音声が切り替わります。
・再生メニューと日時設定メニューにある「シンプル表示」の設定は連動しています。

楽しむ

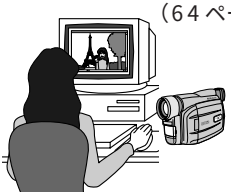
●ダビングする
（58ページ）



●デジタルダビングする
（60ページ）

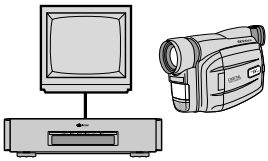
●ビデオプリンターで印刷する
（62ページ）

●パソコンに接続する
（64ページ）



●アフレコ編集する
（66ページ）

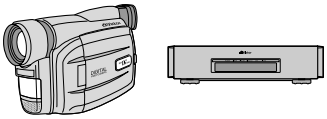
●自動編集する
（68ページ）



ダビングする

楽しみかた

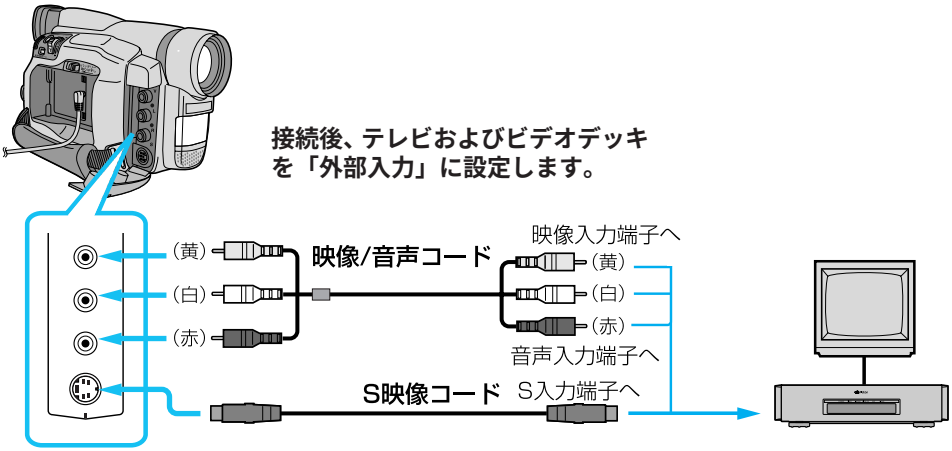
ダビングするとテープを保管したりプレゼントすることができます



撮影した映像の気に入った部分だけを編集して保管したり、同じ内容のテープを友人などにプレゼントしたりするときに、ダビングが便利です。ビデオカメラとビデオデッキを使って、保存版の作品を作りましょう。

1 電源を入れない状態で、ビデオカメラとビデオデッキを接続する

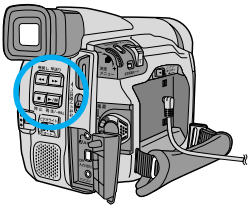
●本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめいたします。

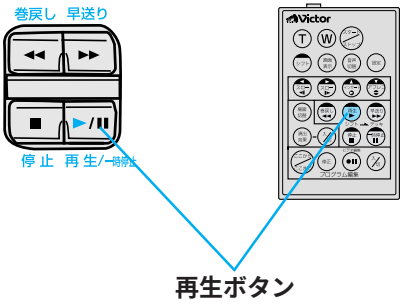


S映像端子つきのビデオデッキと本機をS映像コードで接続すると、より高画質の映像をダビングできます。

2 ビデオカメラを再生し、ダビングしたいところでビデオデッキの録画ボタンを押す

●ビデオカメラまたはリモコンを操作してテープを再生してください。





●カットしたい映像があるときは、ビデオデッキを一時停止させ、ダビングしたい場面が現れたら録画を再開します。

注意

●映像／音声コードは必ず付属されているものをお使いください。

●ビデオデッキでダビングする前にご使用になるビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

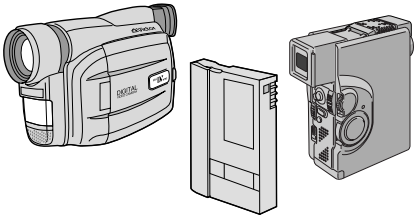
●テレビの画面の表示は、そのままダビングされます。表示を消してダビングしてください。
「音声モード表示」（21ページ）を消す→リモコンの画面表示ボタンを押す。
「日時表示」や「タイムコード表示」（21ページ）を消す→メニュー選択画面で「日時表示」または「タイムコード」を「切」に設定する。
（54ページ）

●自動編集機能（68ページ）を使えば、リモコンによる簡単操作で編集作業ができます。

デジタルダビングする

楽しみかた

デジタルビデオカメラ同士やDV端子付ビデオ機器に接続してダビングできます



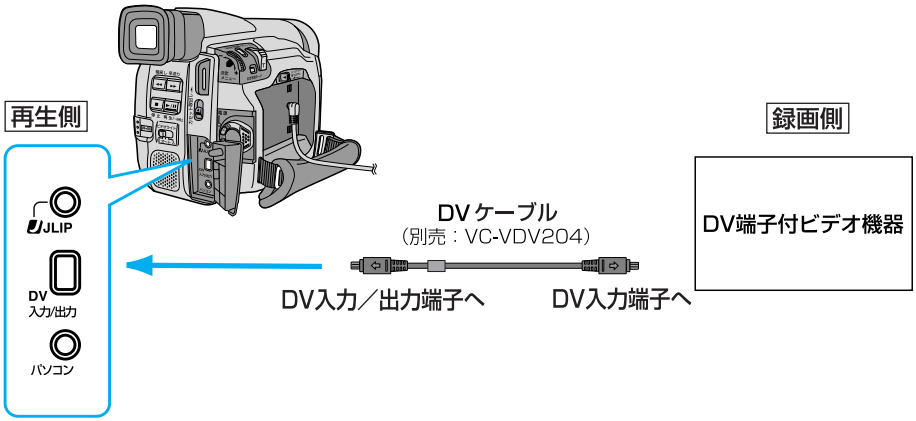
デジタル信号でダビングするため、画質や音質の劣化がほとんどなく、鮮明にダビングできます。

注意

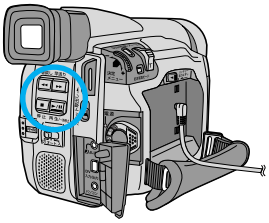
- デジタルでダビングする前にご使用になるビデオ機器の取説説明書もお読みください。
- 必ず電源を切った状態で接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

1 電源を入れない状態でビデオカメラとDV端子付ビデオ機器を接続する

- ノイズを除去するために、付属のフェライトコアをDVケーブルに取り付けてください。取り付け方は7ページをご覧ください。
  また、フェライトコアを取り付けた側を本機に接続してください。
- 本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめいたします。



2 本機を再生し、ダビングしたいところでDV端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す



●本機を録画側として使うときは

1. 録画モードを選ぶ（96 ページ）。
2. 電源ダイヤルを「見る」にする。
3. 「スタート／ストップ」ボタンを押す。画面上に「DV イン」の表示が出て、録画一時停止状態になります。
4. 録画一時停止状態で、「スタート／ストップ」ボタンを押すと録画を開始します。
5. 再度「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画一時停止状態になります。

注意

●本機とDV接続できるのは1台だけです。本機で録画も可能です。

●再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると

異常な映像が記録されたりダビングが停止することがあります。

●再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても

DV 出力端子からは、テープの通常再生映像しか出ません。

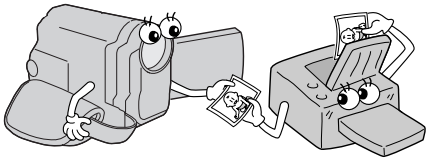
●本機を録画側としてDV入力しているときはS映像／映像／音声出力端子から信号が出力されません。

デジタルダビングとは：DV端子付ビデオ機器を、DVケーブルで接続してダビングをすること。画質・音質の劣化がほとんどなくダビングできます。

ビデオプリンターで印刷する

楽しみかた

別売のビデオプリンターで、お好みのシーンをプリントできます

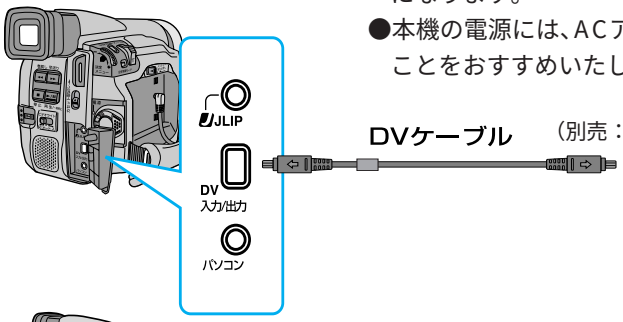


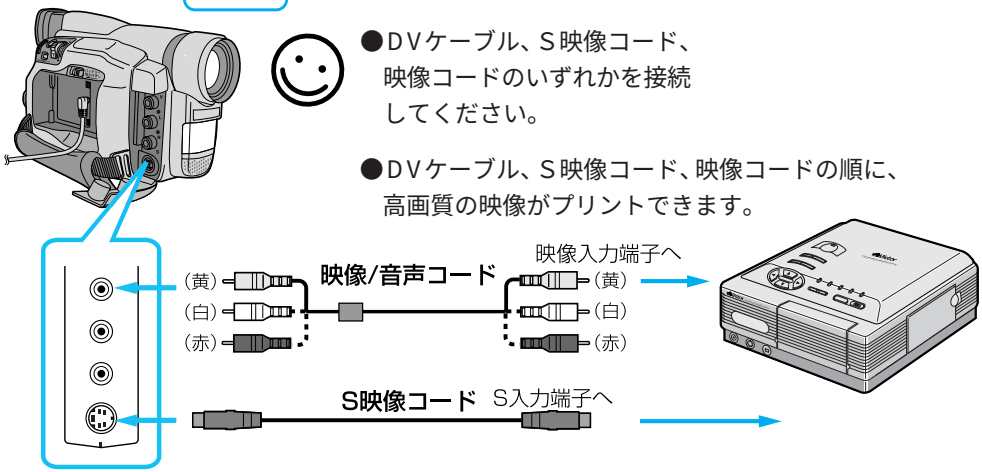
DVケーブル（別売）を使用して、DV 入力端子付プリンター GV-DT3（別売）などに接続するとデジタル情報をそのままビデオプリンターに送ることができるので、明瞭な画質でプリントできます。

■ 接続のしかた

注意

- 必ず電源を切った状態で接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- 本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめいたします。

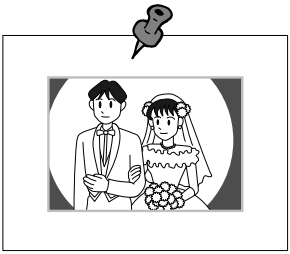




- DVケーブル、S映像コード、映像コードのいずれかを接続してください。
- DVケーブル、S映像コード、映像コードの順に、高画質の映像がプリントできます。

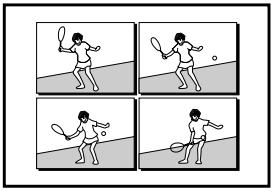
■ 思い出のショットを部屋に飾る

ビデオカメラで撮った思い出のシーンをプリントできます。額に入れたり、壁にそのまま貼ったりできます。



■ シール紙にプリントする

シール付きシートにプリントすれば、携帯電話などに貼ることができます。



■ 豊富なシートの中から選んでプリントする

官製ハガキやシール紙などに印刷できるので、さまざまな用途に活用できます。

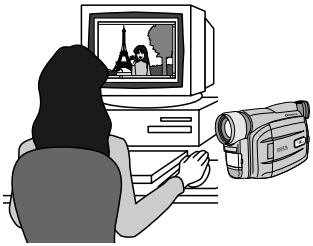
注意

- 映像／音声コードは必ず付属されているものをお使いください。
- DVケーブルで接続するときは、ノイズを除去するために付属のフェライトコアをDVケーブルに取りつけてください。取りつけ方は7ページをご覧ください。
- ご使用になる前にビデオプリンターの取扱説明書もお読みください。

パソコンに接続する

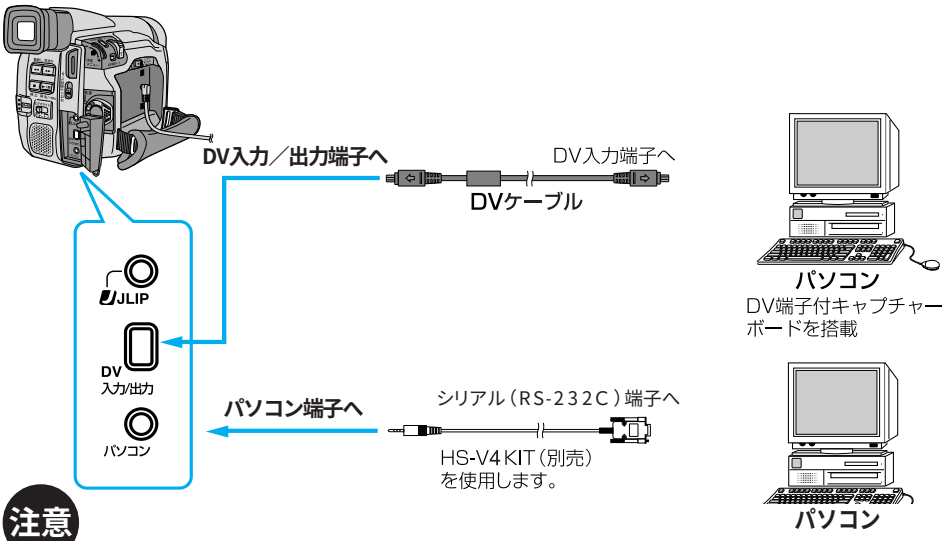
楽しみかた

画像をパソコンに取り込んで楽しみましょう



JLIP ビデオキャプチャーパック（HS-V4KIT：別売）を使用すると静止画像をパソコンに取り込むことができます。また DV ビデオナビゲーターパック（GV-DV1000：別売）を搭載したパソコンにも静止画像を取り込むことができます。

■ 接続のしかた



注意

- ノイズを除去するために、付属のフェライトコアを DV ケーブルに取り付けてください。取り付けかたは 7 ページをご覧ください。また、フェライトコアを取り付けた側を本機に接続してください。
- 必ず電源を切った状態で接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- 本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめします。

■ 年賀状や暑中見舞い状づくり

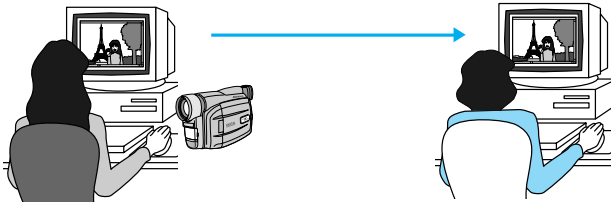
ビデオカメラで撮影した画像をパソコンに取り込み、年賀状や暑中見舞い状に使うことができます。

■ ホームページづくり

パソコンに取り込んだ画像を画像処理ソフトを使って、ホームページに活用できます。

■ メールで送る

パソコンで取り込んだ画像をメールで送ることができます。



注意

- 日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
- GV-DV1000を使用するときは、GV-DV1000に付属のDVケーブルをご使用ください。
- HS-V4KIT／GV-DV1000／パソコンの取扱説明書もお読みください。

アフレコ編集する

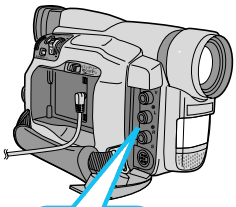
楽しみかた

思い出の映像にナレーションを入れることができます

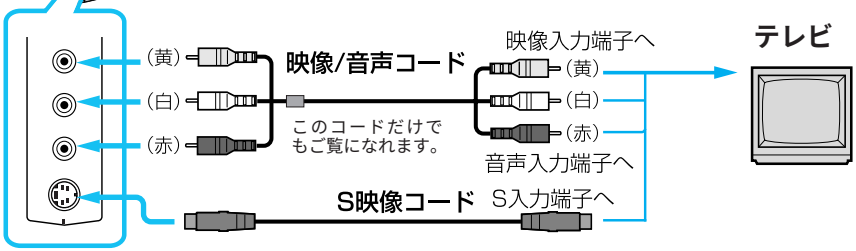
録画モードを SP（96 ページ）、音声モードを 32kHz（100 ページ）で撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。アフレコ編集は、リモコンを使用して行います。

■ 接続のしかた

ビデオカメラの液晶画面を見てアフレコ編集する場合は、この接続は不要です。



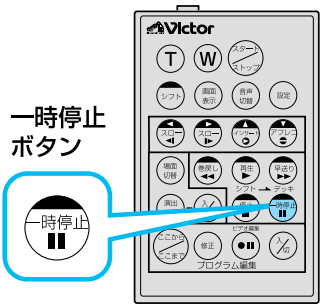
接続後、テレビを「外部入力」に設定します。



アフレコ編集とは:
撮影済みの映像に、ナレーションなど別の音声を追加すること。

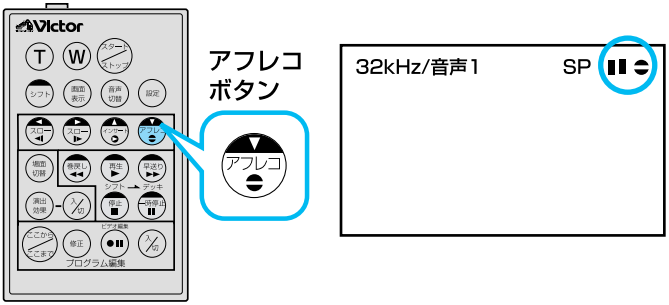
1 テープを再生し、アフレコ編集したい場面で一時停止させる

一時停止ボタン



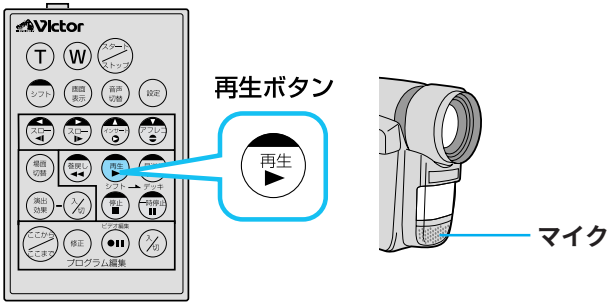
2 リモコンの「アフレコ」ボタンを押しながら、一時停止ボタンを押す

●画面にアフレコ編集アイコンが表示されます。



3 リモコンの「再生」ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

●アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。



4 「停止」ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

●画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは

LP モードで撮影したテープ、または48kHzで音声を記録したテープにはアフレコ編集できません。（96、100ページ）

●アフレコ編集で吹き込んだ音声は撮影時の音声とは別に、ステレオ音声で記録されます。この音声を聞くときは、再生メニューの「32kHz音声切替」を「フル音声」または「音声2」にしてください。（56ページ）

注意

映像／音声コードは必ず付属されているものをお使いください。

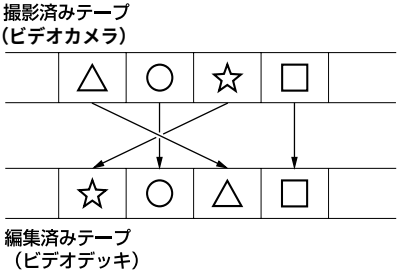
自動編集する

楽しみかた

8 場面まで自動で編集できます

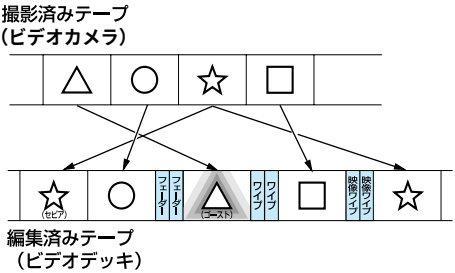
自動編集したときは

撮影済みのビデオの中から最大 8 つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。自動編集すると、ビデオはこのようにダビングされます。

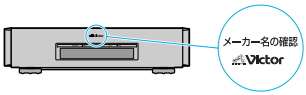


場面切替（86 ページ）や、演出効果（92 ページ）を入れて自動編集したときは

自動編集する場面の最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオはこのようにダビングされます。



■ 自動編集の準備

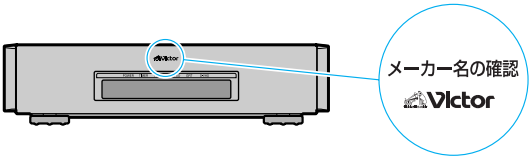


自動編集では、リモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録します。ビデオデッキをリモコンに登録しておくと、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

■ ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

1 ビデオデッキの電源を切る

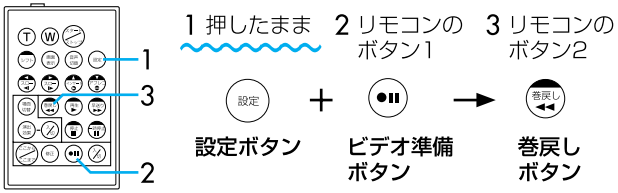
2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する



3 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」(次ページ)に対応したボタンを順番に押す

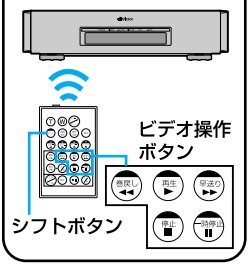
- ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
- 同じメーカーでも、信号の種類は複数あります。
- 「リモコン信号 A」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号 B」「リモコン信号 C」... の順で、ボタンを押してください。

例：ビクター（リモコン信号A）の場合



リモコン登録後のビデオの操作方法

シフトボタンを押したまま、ビデオ操作ボタンを押します。



自動編集する（つづき）

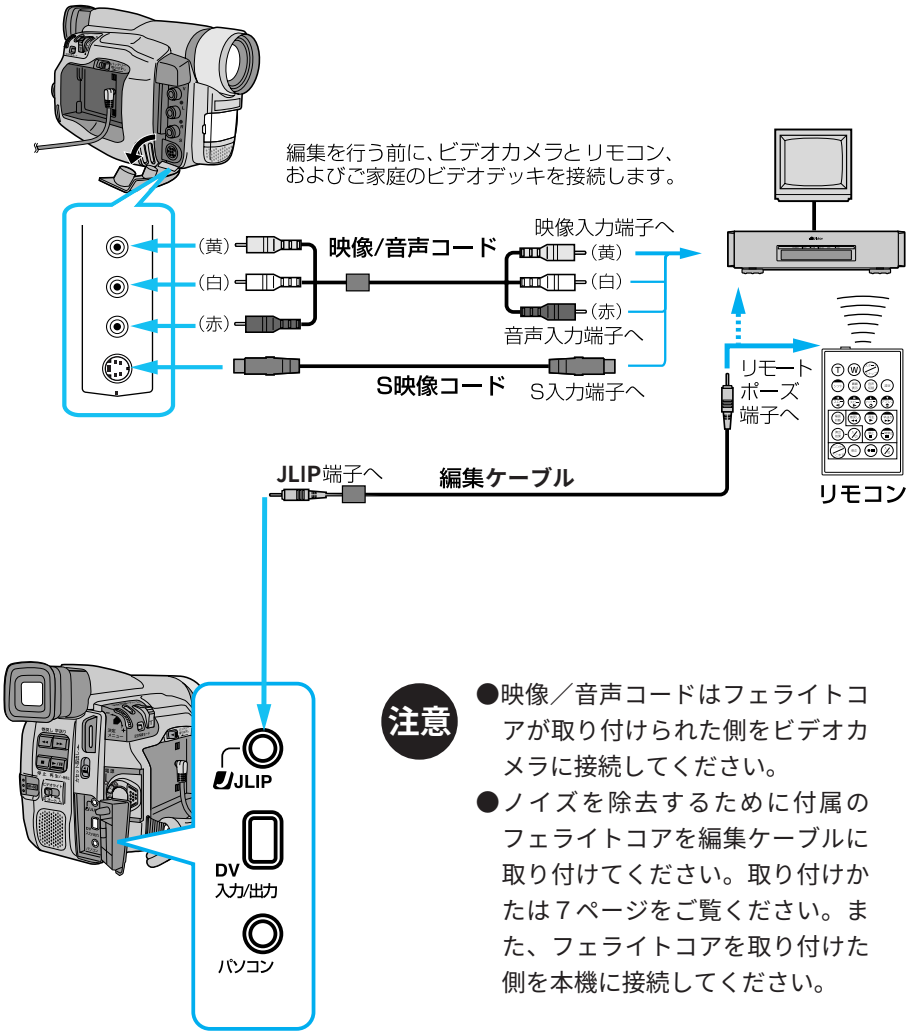
■メーカー別リモコン設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	A	ビデオ準備	巻戻し
	B	ビデオ準備	停止
	C	ビデオ準備	シフト
アカイ	A	停止	早送り
	B	停止	再生
	C	ここから/ここまで	ここから/ここまで
サンヨー	A	停止	再生
	B	シフト	一時停止
	C	シフト	プログラム編集入/切
	D	ここから/ここまで	ビデオ準備
シャープ	A	巻戻し	一時停止
	B	巻戻し	プログラム編集入/切
ソニー	A	停止	一時停止
	B	停止	プログラム編集入/切
	C	シフト	ビデオ準備
	D	シフト	巻戻し
東芝	A	停止	ビデオ準備
	B	停止	巻戻し
NEC	A	シフト	ここから/ここまで
	B	シフト	修正
日立	A	停止	停止
	B	停止	シフト
フナイ	A	ここから/ここまで	シフト
松下	A	巻戻し	シフト
	B	巻戻し	ここから/ここまで
	C	巻戻し	巻戻し
	D	ビデオ準備	再生
	E	巻戻し	修正
三菱	A	停止	ここから/ここまで
	B	停止	修正

注意

- **リモコンのボタン電池がなくなったときは：**設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。ボタン電池を交換してメーカー設定をやり直してください。
- **リモコンでビデオデッキを操作できないときは：**機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

■ 接続のしかた



注意

- ●映像／音声コードはフェライトコアが取り付けられた側をビデオカメラに接続してください。
- ●ノイズを除去するために付属のフェライトコアを編集ケーブルに取り付けてください。取り付けかたは７ページをご覧ください。また、フェライトコアを取り付けた側を本機に接続してください。

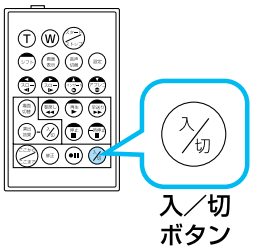
●ダビング中のリモコンの位置は

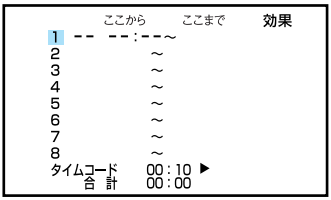
ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。

自動編集する（つづき）

1 リモコンを使ってビデオカメラを再生し、プログラム編集の「入 / 切」ボタンを押す

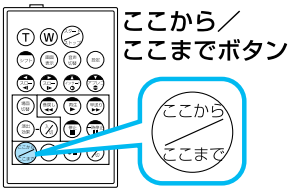
●自動編集表示画面が表示されます。

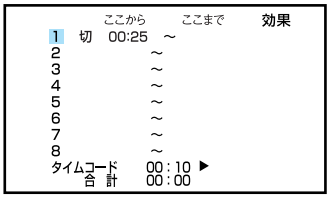




2 編集を開始したい場面でリモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押す

●液晶画面やテレビに編集開始場面のタイムコードが表示されます。





●映像に演出効果（92ページ）をつけたいときは

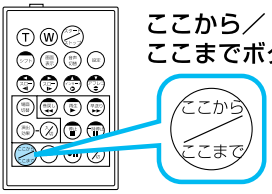
リモコンの演出効果ボタンを押します。「効果」の下に利用したい演出効果アイコンが表示されるまでボタンを押します。演出効果が設定されていないときは「切」が表示されます。

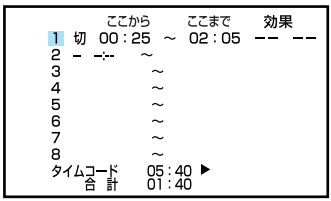
編集開始場面に変化（場面切替 86 ページ）をつけたいときは

リモコンの場面切替ボタンを押します。カウンターの左側に利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押します。ただし、最後の映像による場面切替（オーバーラップなど）は使用できません。場面切替が設定されていないときは「切」が表示されます。

3 編集を終了したい場面でリモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押す

●ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集終了場面のタイムコードが表示されます。



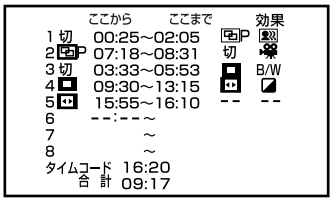


編集終了場面に変化（場面切替 86ページ）をつけたいときは

リモコンの場面切替ボタンを押します。カウンターの右側に利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押します。ただし、編集する最後のプログラムの場面では、最後の映像による場面切替（オーバーラップなど）は使用できません。終了場面に場面切替を設定すると、次の編集開始場面が自動的に前の編集終了場面の場面切替に設定されます。フェードアウトやワイプアウトを行うため、その時間がビデオの編集時間に加算されます。

場面切替が設定されていないときは「切」が表示されます。

4 手順2，3を繰り返して自動編集したい場面を登録する



次ページにつづく

●デジタルダビングでは、場面切替および演出効果を使用できません。

注意

●画面の表示を消して自動編集してください

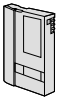
テレビの画面の表示は、自動編集でもそのまま記録されます。表示を消してから自動編集してください。

「音声モード表示」（21ページ）を消す→リモコンの画面表示ボタンを押す。

「日時表示」や「タイムコード表示」（21ページ）を消す→「日時表示」、または「タイムコード」を「切」に設定する。（54ページ）（自動編集表示は自動編集がスタートすると消え、ビデオには記録されません。）

●自動編集の登録場面を修正したいときは

リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後に登録した場面から登録場面が消去されます。



自動編集する（つづき）

●こんなときは自動編集できません

・同じタイムコード（46ページ）が2つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。

・リモコンのプログラム編集入 / 切ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。

・編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。

●各場面のタイムコードの合計時間は

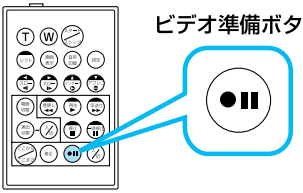
編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。

5 最初に登録した場面「1」の付近までテープを巻き戻したあと、一時停止する

●リモコンやビデオカメラの「巻戻しボタン」でビデオを巻き戻し、「一時停止ボタン」を押します。

6 ビデオデッキのリモコン受光部に向けて、リモコンの「ビデオ準備」ボタンを押す

●ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手動でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。



7 ビデオカメラの「スタート/ストップ」ボタンを押す

●自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとビデオカメラが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。

スタート / ストップボタン

8 ビデオカメラとビデオデッキを停止させ、編集を終了する

より正確に自動編集する

ポイント

編集時の録画タイミングのズレを補正します

ビデオデッキには、録画タイミング反応の早いものと遅いものがあります。自動編集でビデオカメラとビデオデッキを同時にスタートさせてもそれぞれ動き出すタイミングが異なるため、余計な場面をダビングしてしまったり、必要な場面をダビングできなかったりすることがあります。そんなときはビデオカメラ側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから再度自動編集を行ってください。

■ 録画タイミングのズレを確認する

1 適当な場面を１場面だけ選んで、自動編集する

●自動編集する場面は、録画タイミングのズレがわかりやすいように場面が切り替わっている場面を指定してください。

2 ダビングしたテープを巻き戻し、再生する

●指定した編集開始場面よりも前の場面が録画されているときは、ビデオカメラの再生よりも先にビデオデッキが録画を開始しています。

●指定した編集開始場面よりも後の場面から録画されているときは、ビデオカメラの再生よりも後にビデオデッキが録画を開始しています。

※このようなときは録画タイミングのズレを補正する必要があります。
補正のしかたは、76ページをご覧ください。

注意

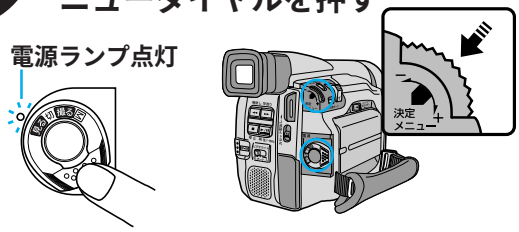
●自動編集を行う前に
数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

●補正しても録画タイミングが合わないときは
ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

より正確に自動編集する（つづき）

■ 録画タイミングのズレを補正します

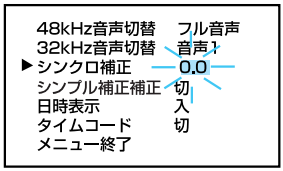
1 電源ダイヤルを「見る」に合わせ、メニューダイヤルを押す

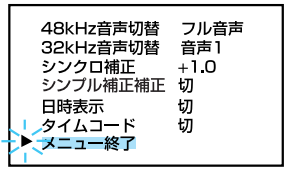


2 メニューダイヤルを回して「シンクロ補正」に合わせ、メニューダイヤルを押す

3 メニューダイヤルを回して「シンクロ補正」の数値を設定し、メニューダイヤルを押す

●ビデオカメラの再生開始よりも先にビデオデッキが録画を開始しているときは、マイナス（−）、後にビデオデッキが録画を開始しているときは、プラス（＋）の値を設定します。





4 メニューダイヤルを押して終了する

●− 1.3 〜＋ 1.3 秒まで、0.1 秒単位で補正値を設定することができます。

もっと使いこなす（マニュアル撮影）

どんなときにマニュアル撮影する？

- ピントが合いにくいとき
- 明る過ぎるとき
- 複数の光源を使っている場所での撮影するとき
- 場面のつなぎに変化（場面切替）をつけたいとき
- 映像に変化（演出効果）をつけたいとき

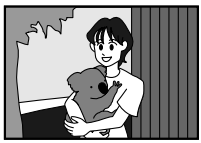
●ピントを合わせる（78ページ）

●明るさを調節する（80ページ）

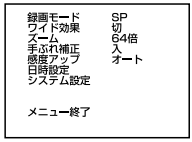
●色バランスを調整する（82ページ）

●映像に変化をつける（92ページ）

●場面のつなぎに変化をつける（86ページ）



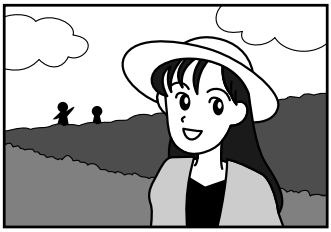
●メニューの設定を変更する（96ページ）



ピントを合わせる

ポイント

ピントが合いにくいときは、手動で合わせます



オートフォーカスでは、約5センチから無限遠まで自動的にピントが合います。しかし、ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは、手動でピントを合わせることができます。

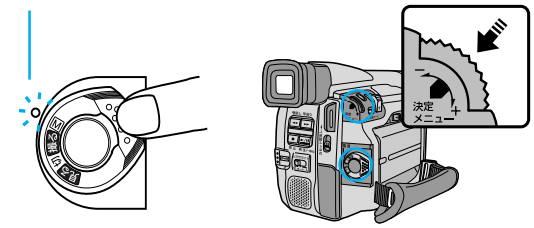
●こんなときに手動でピントを合わせます

- 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
- 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
- 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
- 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

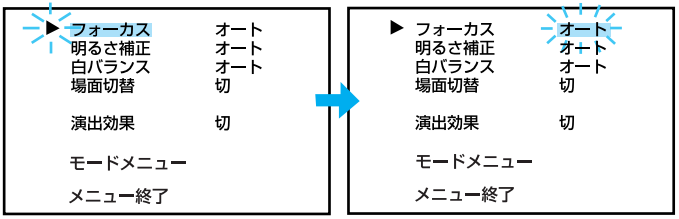
●「フォーカス」は、お買い上げになった状態では「オート」に設定されています。

1 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

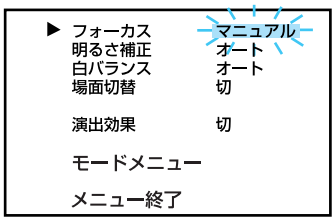
●メニュー画面が表示されます。

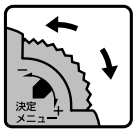


2 メニューダイヤルを回して「フォーカス」に合わせ、メニューダイヤルを押す

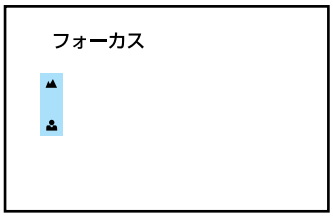


3 メニューダイヤルを回して「マニュアル」に合わせる



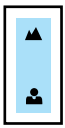


4 メニューダイヤルを押す



5 メニューダイヤルを回して、ピントを合わせる

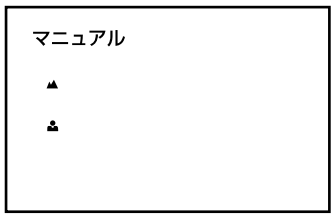
●被写体が良く見えるように合わせます。



下いっぱいに回す（最遠点）

上いっぱいに回す（最至近点）

6 メニューダイヤルを押す



●設定したフォーカスが固定し、「フォーカス」の表示は「マニュアル」に変わります。固定したピントを合わせ直したいときは、手順１からくり返します。

●ピントを合わせる前にズームスイッチを望遠（T）側にしておいて、ピントを合わせると、ズームをしても被写体がボケません。

●手動で接写（マクロ撮影）をするときは、ズームをW側にしてピント合わせをしてください。

・自動でマクロ撮影もできます（44 ページ）

●オートフォーカスに戻すには

・電源ダイヤルを「撮る」に戻すと、メニュー表示は自動的に「オート」になります。

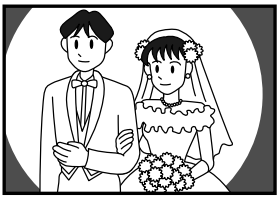
・手順３で「オート」を選択する。

●デジタルズーム時はピントが合いにくくなります。

明るさを調節する

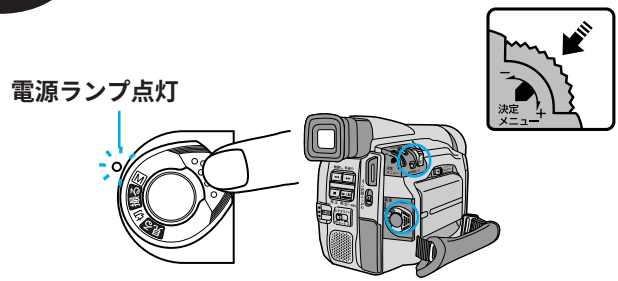
ポイント

明るさを調整して、より自然に近い映像にします

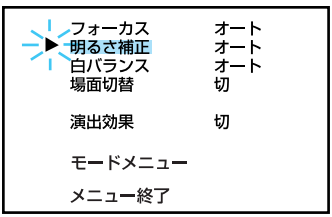


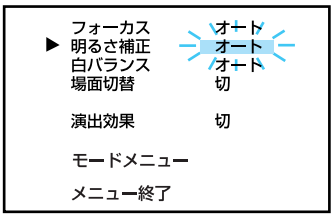
フルオートモードでは、ビデオカメラは映像の明るさを自動調整して撮影します。しかし背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき（逆光のときなど）や背景に比べて被写体が明るすぎるとき（顔が白っぽくなるとき）は、手動で明るさを調節することができます。

1 電源ダイヤルを回して「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す



2 メニューダイヤルを回して「明るさ補正」に合わせ、メニューダイヤルを押す

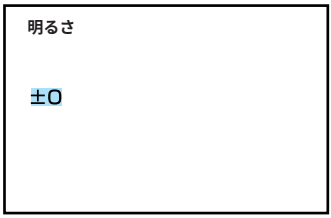




「明るさ補正」は、お買い上げになった状態では「オート」に設定されています。

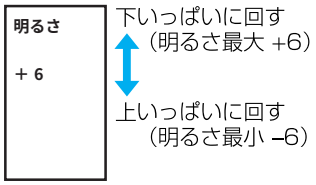
3 メニューダイヤルを回して「マニュアル」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●上下に回して合わせます。



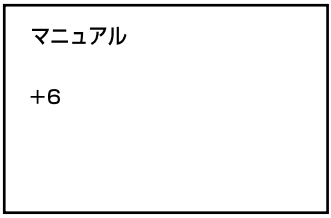
4 メニューダイヤルを回して明るさを調節する

●被写体を程良い明るさに調節します。



5 メニューダイヤルを押す

●明るさの補正が固定され「明るさ」の表示は「マニュアル」に変わります。
固定した明るさを合わせ直したいときは、手順 2 からくり返します。



●明るさ調節を自動調節にするには

・手順 3 で「オート」を選択します。
・電源ダイヤルを「撮る」に合わせても自動調節に切り替えることができます。

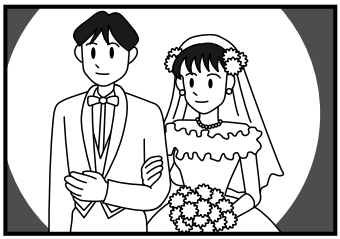
●一定の明るさで撮影するには

・手順 4 のあと、メニューダイヤルを 2 秒以上押すと、明るさ調節表示の数字の横に L が表示されます。
・再度メニューダイヤルを押すと、明るさが固定され、「明るさ」の表示は「マニュアル」に変わります。動きのある被写体や、ズーム操作で画面上の被写体を一定にすることができます。

色のバランスを調節する

ポイント

さまざまな照明の下でも、きれいに撮影できます

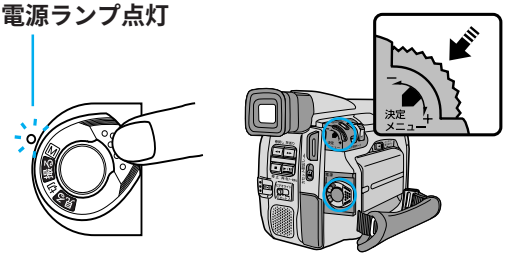


発表会や芸術鑑賞会など、照明を２種類以上使う場合や天気の良すぎる日、曇りの日の撮影などには、色のバランス調節が必要になるときがあります。
このようなときには、手動で色のバランス（白バランス）を調整することができます。

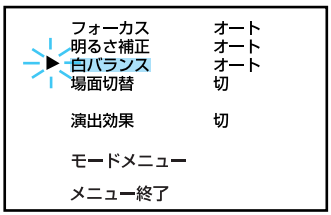
白バランスとは：
蛍光灯やろうそくなどの明かりは、ビデオカメラで撮影すると違った色になります。それを自然な色合いに調節することです。

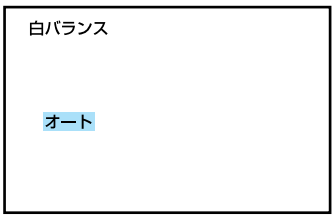
1 電源ダイヤルを回して「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

電源ランプ点灯



2 メニューダイヤルを回して「白バランス」に合わせ、メニューダイヤルを押す





●「白バランス」は、お買い上げになった状態では「オート」に設定されています。

3 メニューダイヤルを回して、下の条件に合ったモードに合わせる

次の 5 つのモードから選択できます。

・オート

自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。

・ワンタッチ

あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。（84 ページ）

・☀

晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。

・☁

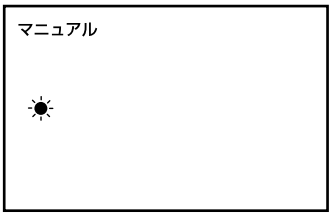
曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。

・💡

ビデオライトなどで撮影するときに選択します。

4 メニューダイヤルを押す

●色バランスが固定され、画面上の「白バランス」が「マニュアル」にかわります。



●色のバランス調節を自動調節に戻すには

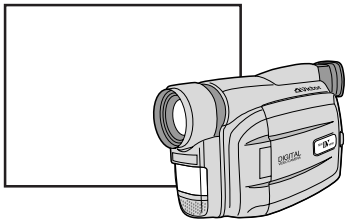
・手順 3 で「オート」を選択する。

・電源ダイヤルを「撮る」に合わせても、自動調節に切り替えることができます。電源ダイヤルを「M」に戻すと、設定した白バランスに戻ります。

色のバランスを調整する（つづき）

ポイント

ワンタッチで色のバランスを固定できます

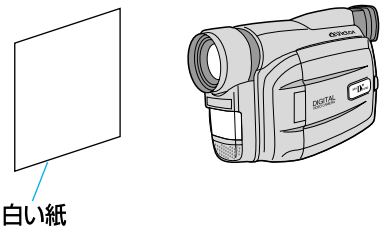


室内で撮影するときは、外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。光によって色温度が異なるため、自然な色合いで撮影したいときは、色のバランスを固定してください。

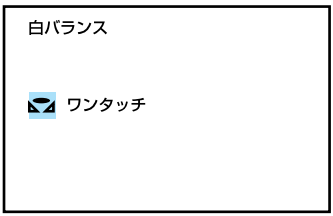
色温度とは：
被写体を照らす光には、赤っぽい色や青っぽい光など、さまざまな質があります。この光の色合いを示す基準を色温度といいます。

1 **被写体の前に白い紙を置き、画面いっぱいに白い紙を映します。**

●ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（78ページ）であわせてください。

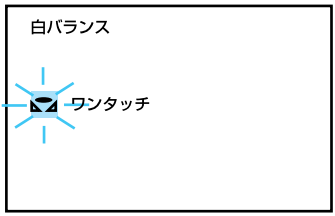


2 **前ページの手順2、手順3で「」（ワンタッチ）を選ぶ**



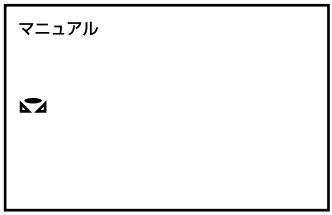
3 「」が点滅するまでメニューダイヤルを押し続ける

●「 」の点滅が止まったところの色のバランスが、ビデオカメラに記憶されます。



4 メニューダイヤルを押す

●画面上の「ワンタッチ」が「 」だけになり「白バランス」が「マニュアル」になります。



●設定した色のバランスは
「ワンタッチ」で別の色のバランスを設定するまで記憶されています。

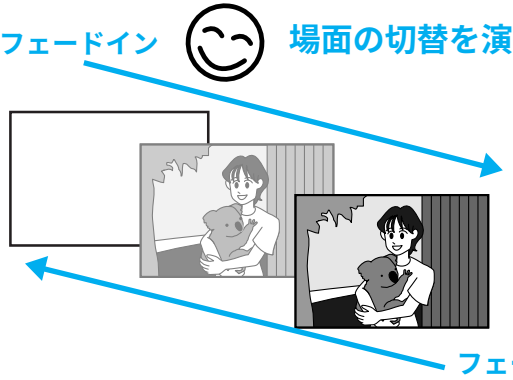
●色紙を使って色のバランスを調節するときは
手順1で色紙を置いて色のバランスを調節すると、白い紙を置いて調節したときとはちょっと変わった色合いの撮影がお楽しみいただけます。

例）
- 赤い紙で調節した場合：青緑がかった色で撮影されます。
- 青い紙で調節した場合：オレンジ色で撮影されます。
- 黄色い紙で調節した場合：青紫がかった色で撮影されます。

場面のつなぎに変化をつける

楽しみかた

場面の切替を演出した作品づくり



場面と場面の間に変化をつけて映像をつなぐさまざまな方法があります。メニューからお好きな場面切替を選んで、映画のような演出を楽しんでください。

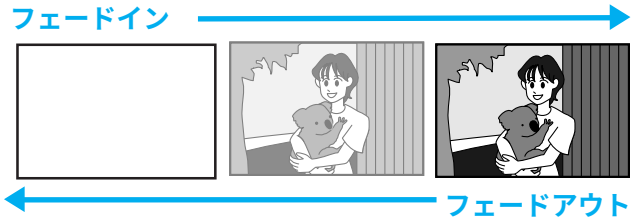
フェーダーとは：
場面が徐々に薄れていったり、暗くなったり、あるいは徐々に鮮明になっていくことです。

ワイプとは：
場面がぬぐうように消えたり現れたりすることです。

白黒画面で場面切替をする

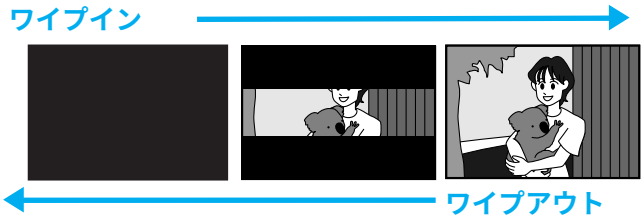
■ フェーダー

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。（例 白 フェーダー：白）



■ ワイプ

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。（例 ワイプ：シャッター）



■ 「ランダム」

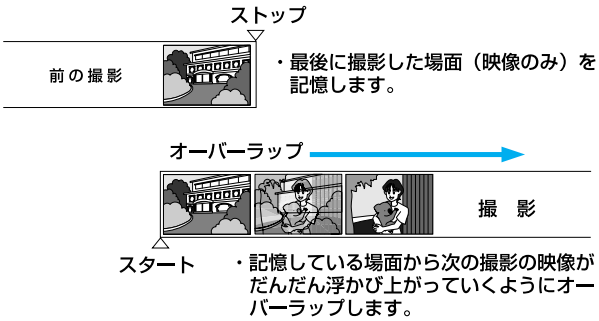
「白・黒画面で切替」メニュー（88ページ）の中から、使用するモードをビデオカメラが無作為に選び、画面を切り替えていきます。

最後の映像（静止画）で場面切替をする

■ オーバーラップ

ビデオの撮り始めをオーバーラップでつなぎます。

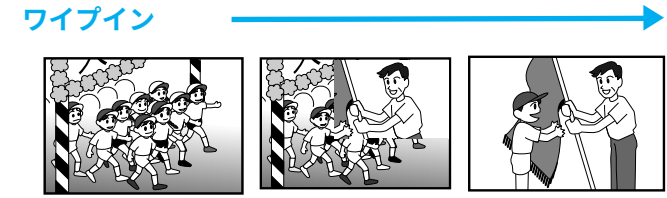
（例 ワイプ：シャッター）



■ ワイプ

ビデオの撮り始めをワイプインでつなぎます。

（例 Pワイプ：コーナー）



●自動編集時にも場面切替ができます。
（68 ページ）

●最後の映像（静止画）で場面切替ができない

最後に撮影した場面が記憶されていないと場面切替ができません。一度撮影を行うと場面切替ができるようになります。

場面のつなぎに変化をつける（つづき）

■ 場面切替メニュー

分　類	メニューアイコン	効　果
白・黒画面で切替	フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：モザイク	モザイク画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
	ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
	ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
	ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
	ワイプ：ドア	黒い画面の中央から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
	ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
	ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。
ランダムに切替	ランダム	「白・黒画面で切替」メニューの中から使用するメニューをビデオカメラがランダムに選び、場面を切り替えていきます。

分　類	メニューアイコン	効　果
最後の映像（静止画）で切替	P オーバーラップ	最後に撮った映像から次の撮影の映像が徐々に浮かび上がっていくように場面を切り替えます（オーバーラップ）。
	P ワイプ：コーナー	最後に撮った映像の右上から左下へ徐々にワイプインします。
	P ワイプ：ウィンドウ	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中心から徐々にワイプインします。
	P ワイプ：スライド	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の右から左に徐々にワイプインします。
	P ワイプ：ドア	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中央から左右にドアを開けていくように徐々にワイプインします。
	P ワイプ：スクロール	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の下から上に徐々にワイプインします。
	P ワイプ：シャッター	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中央から上下に徐々にワイプインします。
—	切	「場面切替」を使用しないときに選択します。

・設定方法は、90 ページに説明しています。

注意 アイコンが点滅している時は、その機能は動作しません。

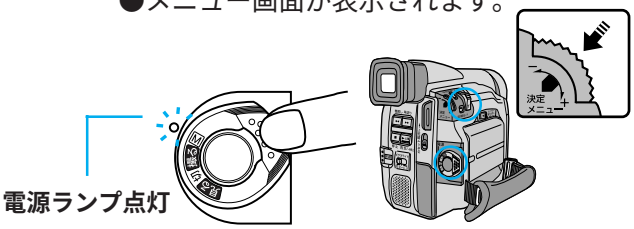
場面のつなぎに変化をつける（つづき）

●**場面切替設定をやめたいときは**
「場面切替を設定する」の手順 3 で「切」を選択します。

■ 場面切替の設定方法

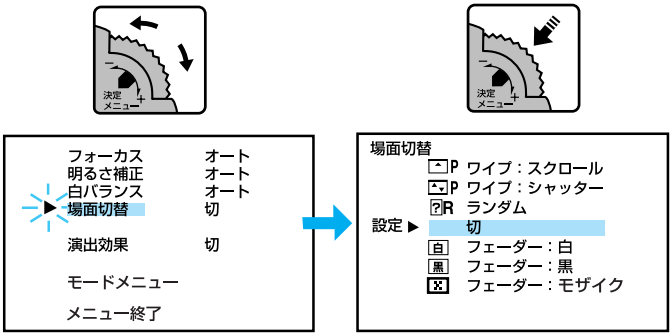
1 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。

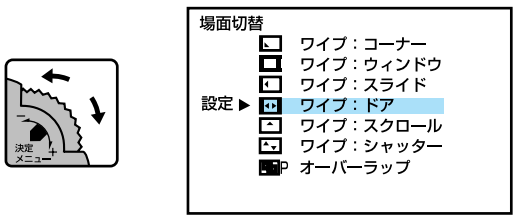


2 メニューダイヤルを回して「場面切替」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●上下に回して合わせます。

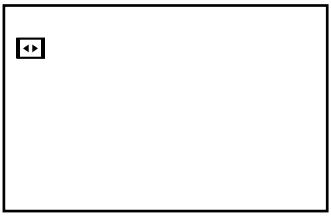


3 メニューダイヤルを回してお好みの場面切替に合わせる



4 メニューダイヤルを押す

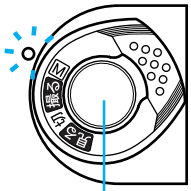
●「場面切替設定」画面が消え、選択した場面切替が設定されます。
画面の左上に選択した場面切替のアイコンが表示されます。



5 「スタート / ストップ」ボタンを押す

●選択した場面切替でビデオを撮り始めます。

●もう一度スタート / ストップボタンを押すと選択した場面切替でビデオを撮り終えます。



スタート / ストップボタン

●電源を切ってしまったときは

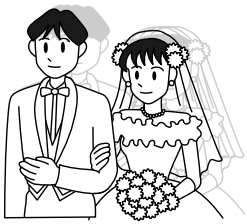
「最後の映像で切替」（アイコンに P の付いている切替）を設定したとき、電源が切れると、ビデオカメラに記憶されている最後の映像が消えてしまいます。このとき、場面切替設定アイコンが点滅しますので、もう一度通常の撮影をしてから場面切替を行ってください。撮影一時停止を 5 分以上続けても電源が切れますので、注意してください。

●場面切替設定と演出効果設定（92ページ）を一緒に使うと、さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えない場面切替があります。
場面切替設定アイコンが点滅して、使えないことをお知らせします。

映像に変化をつける

楽しみかた

映像に変化をつけた作品づくり



映像そのものに変化をつけて撮影すると、実際の映像とは違った雰囲気のある映像をお楽しみいただけます。
被写体を何重にも重ねて撮影したり（ゴースト）、暗い場所の被写体を明るく撮ること（高感度）などができます。演出効果は全部で12種類のモードをご利用いただけます。

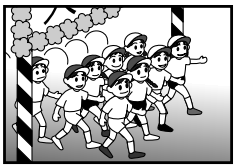
■ 演出効果の種類

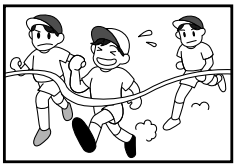
メニューアイコン	効　果
シャッタースピード	運動会の徒競走やゴルフ、テニスのスウィングなど、動きの速い被写体を撮影するときには、シャッタースピードを使って撮影すると、再生一時停止したとき画面がブレない映像で見ることができます。スウィングのフォームの確認などに便利です。
1/60　シャッター1/60	1/60　：テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100　シャッター1/100	1/100：蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（東日本のみ）50Hz地域。
1/250　シャッター1/250 1/500　シャッター1/500	1/250：動きの早いものを1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。シャッタースピードが早くなればなるほど画面が暗くなるので、できるだけ明るい場所で撮影してください。 1/500
夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます。 ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

■ 演出効果で、思い出の映像がさらに楽しくなる！

結婚式で

運動会で





再生時でも演出効果ができます（53 ページ）。
ただし、シャッター、高感度、夜景モードはできません。

メニューアイコン	効　果
セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（96 ページ）と合わせて使うと、古い映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W　ブラック/ホワイト	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
映画効果	早いコマ落とし効果を付けて映像を記録します。
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。
1　高感度　4倍 2　高感度　10倍	暗い場所の映りにくい被写体を、通常よりも約4倍（高感度1）、約10倍（高感度2）明るく浮かび上がらせて撮影することができます（シャッター速度：高感度1は1/15秒、高感度2は1/6秒）。
ゴースト	被写体が何重にもなって撮影されます。幻想的な雰囲気を出したいときなどに効果的です。
切	「演出効果」を使用しないときに選択します。

・設定方法は、94 ページに説明しています。

注意　アイコンが点滅している時は、その機能は動作しません。

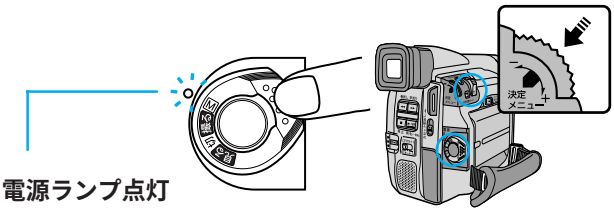
映像に変化をつける（つづき）

●**演出効果設定と場面切替設定を一緒に使うと**さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えないことをお知らせします。

■ 演出効果の設定方法

1 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

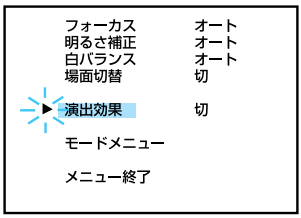
●メニュー画面が表示されます。



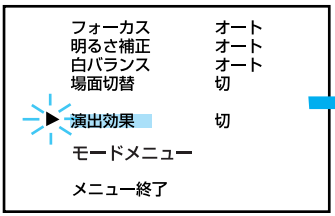
電源ランプ点灯

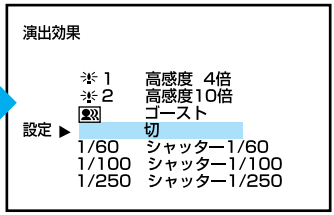
2 メニューダイヤルを回して「演出効果」に合わせる

●上下に回して合わせます。

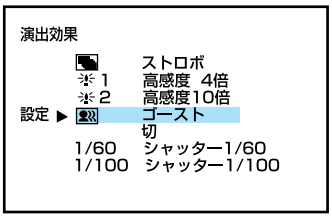


3 メニューダイヤルを押す



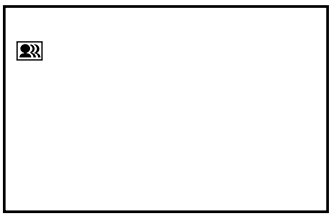


4 メニューダイヤルを回してお好みの演出効果に合わせる



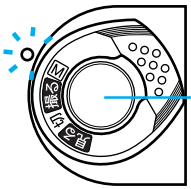
5 メニューダイヤルを押す

●「演出効果設定」画面が消え、選択した演出効果が設定されます。
画面の左上に選択した演出効果のアイコンが表示されます。



6 「スタート / ストップ」ボタンを押す

●選択した演出効果でビデオを撮影します。



スタート / ストップボタン

●演出効果設定をやめたいときは
手順４で「切」を選択します。

●シャッターメニューを使うときは
シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります（1/60、1/100、1/250、1/500の順で暗くなります）。できるだけ明るい場所で撮影してください。

●高感度メニューを使うときは
撮影した映像はコマ落としのようになります。手動フォーカス表示が出て点滅したときは、三脚などで固定してください。ピントを手動で合わせます。

●ゴーストを設定しているときは
デジタルズーム（44ページ）はご利用いただけません。

メニューの設定を変更する

■ モードメニューについて

ここでは、電源ダイヤル「M」で撮影するとき、より効果的な撮影を行う方法を説明します。

項目	概　　要	設定内容
録画モード	撮影する際のテープの送り速度を変えることができます。「LP」は「SP」に比べてテープの速度が遅くなるため、撮影時間は「SP」の1.5倍です。「SP」で撮影すると、あとで「アフレコ編集」をすることができます。	**SP** /LP
ワイド効果	「ワイド」を選択すると、ワイドテレビにピッタリの横長の画面を撮ることができます。「シネマ」を選択すると、映画のように画面の上下に黒い帯が入った映像を撮ることができます。	**切** /ワイド/シネマ
ズーム	ズームできる最大倍率を、16倍、64倍、160倍から選択することができます。	16倍/ **64倍** /160倍
手ぶれ補正	撮影中に生じる小さな揺れを自動的に補正することができます。設定が「入」になっているときは、画面に「」が表示されます。	**入** /切
感度アップ	ビデオカメラは暗いところでも画面が明るくなるように撮影します。この機能を「切」に設定することで、見ている明るさそのままをビデオに撮ることができます。	AGC / 切 / **オート**
日時設定	「日時設定メニュー」について101ページを参照してください。	――
システム設定	「システム設定メニュー」について100ページを参照してください。	――

・最初に設定されている内容は　　で示してあります。
・設定方法は98ページに説明してあります。

■ 録画モード

●本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。

■ ワイド効果

●普通のテレビ（画面比率4:3）やファインダー、液晶画面で見るときはワイド映像は、撮影時、再生時ともに縦長の映像が映ります。シネマ映像は、撮影時、再生時ともに上下に黒い帯が入った映像が映ります。

●**ワイドテレビで再生するときは**

ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。S映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビのS2端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。テレビのS1端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1端子がないときは、S端子に接続してください。自動判別はできません（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。

●**ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**

ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。

●**ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**

早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。

■ ズーム

●**16倍以上のズーム（デジタルズーム）を使うときは**

16倍までは光学レンズの性能で映像をズームしますが、16倍以上は映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。（96ページ）

■ 手ぶれ補正

●デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。

●**フルオートモードの手ぶれ補正は**

「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。

●**三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは**

「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。

●手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは、補正できないことがあります。

●映像をデジタル処理する機能と同時に使えないことがあります。

●手ぶれ補正が働かないときは、液晶画面の「」表示が点滅します。

■ 感度アップ

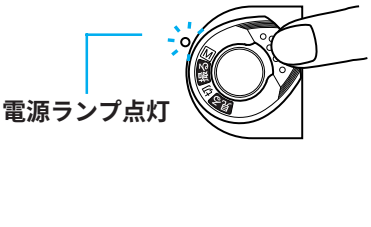
●「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。

●「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし被写体の動きは多少不自然になります。

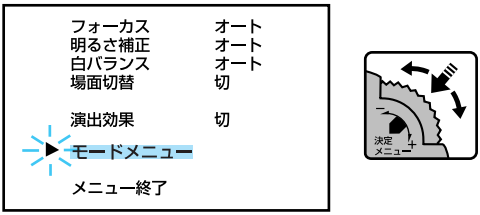
メニューの設定を変更する（つづき）

■ モードメニューの設定方法

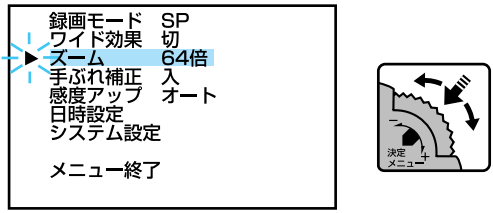
1 電源ダイヤルを回して「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す



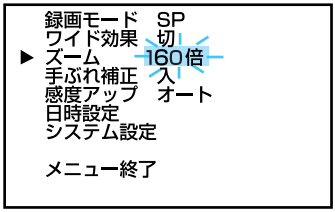
2 メニューダイヤルを回して「モードメニュー」に合わせ、メニューダイヤルを押す



3 メニューダイヤルを回して「お好みの項目」に合わせ、メニューダイヤルを押す



4 メニューダイヤルを回して「お好みの設定」に合わせ、メニューダイヤルを押す



5 メニューダイヤルを押す

●メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

■ システム設定メニューについて

ここでは、電源ダイヤルを「M」にしているとき、ビデオカメラのシステム設定を変更する方法を説明します。

項目	概　要	設定内容
テレマクロ	・「切」：通常はこの位置にセットします。 ・「入」：近くにある被写体を、画面いっぱいにズームアップして撮影することができます。（目安：約60cmの距離まで近づいて撮影できます。）ただし、ズーム中はピントが合わないこともあります。テレマクロが“切”になっていると、ズームの最望遠点で1m以上離れないとピントは合いません。	切 ／入
ボイスポジション	・「入」：風による雑音など軽減して録音します。録画に が表示されます。 ・「切」：自然のままの音を録音します。	切 ／入
音声モード	・「32kHz」：撮影後にアフレコ編集することができます。 ・「48kHz」：高音質で記録することができます。ただしアフレコ編集できません。	32kHz／48kHz
IDナンバー	・別売の HS-V4KIT などを使ってパソコンや JLIP 対応の AV 機器からビデオカメラを操作するときに必要な ID ナンバーを 設定することができます。	「01」～「99」 「06」
デモモード	・「入」：演出効果などをデモンストレーションで確認できます。電源を切 / 入しても、デモモードは「切」になります。カセットが入っていると、デモモードを「入」にすることができません。	切 ／入

最初に設定されている内容は、 で示してあります。
設定方法は102ページに説明してあります。

■ 日時設定メニューについて

ここでは、ビデオカメラの画面に表示される内容や日時を変更する方法などを説明します。

項目	概　　要	設定内容
シンプル表示	・「入」:ビデオカメラの液晶画面やテレビに日時、テープ残量、録画モードなどの表示を出しません。 ・「切」:ビデオカメラの液晶画面やテレビにすべての表示を出します。	切 /入
オンスクリーン	・「入」：ビデオカメラの画面表示がテレビに映ります。 ・「切」：ビデオカメラの画面表示がテレビに映りません。	切 /入
日時表示	・「入」:ビデオカメラの液晶画面やテレビに日時が表示されます。 ・「切」:日時が表示されません。	入 /切
年月日 時計	メニューダイヤルを押すと「年月日」「時計」の「年」が点滅します。メニューダイヤルを上下に動かして「年」を合わせます。メニューダイヤルを下に動かすと数値が大きくなります。上に動かすと小さくなります。数値を表示させてメニューダイヤルを押し、「月」「日」「時」「分」の順で合わせます。 ・年は**西暦の下２ケタ**で合わせます。 ・時計は**１２時間表示**方法です。 （AMは午前、PMは午後） ・AM12：00夜中　・PM12：00正午	現在の年月日と時刻が表示されています。

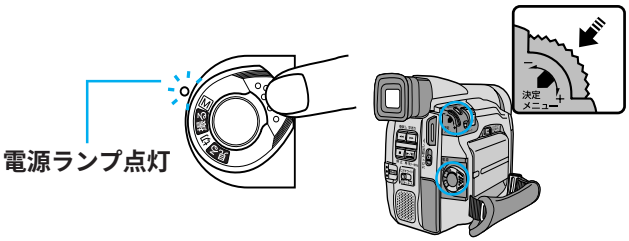
最初に設定されている内容は、　で示してあります。
設定方法は102ページに説明してあります。

●「シンプル表示」、および「オンスクリーン」の設定内容は「撮る」にしたときも働きます。
●オンスクリーンの設定内容はリモコンの画面表示ボタンでも切替えることができます。
●再生時の日時表示は再生メニューで設定します。
●日時設定メニューと再生メニューにある「シンプル表示」の設定は連動しています。

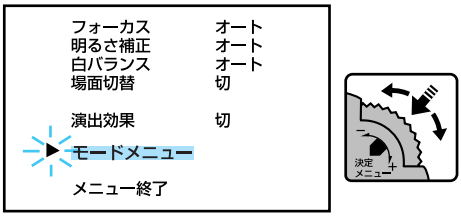
メニューの設定を変更する（つづき）

■ 「日時設定」、「システム設定」メニューの設定方法

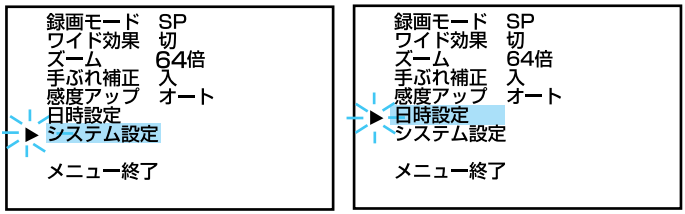
1 電源ダイヤルを回して「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す



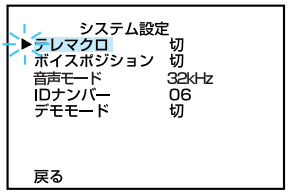
2 メニューダイヤルを回して「モードメニュー」に合わせ、メニューダイヤルを押す

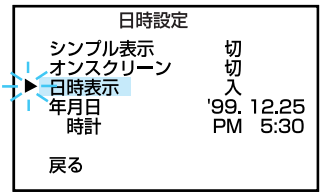


3 メニューダイヤルを回して「日時設定」または「システム設定」に合わせ、メニューダイヤルを押す



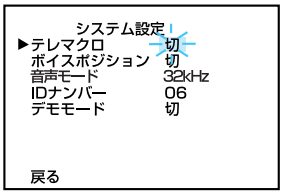
4 メニューダイヤルを回してお好みの項目に合わせる

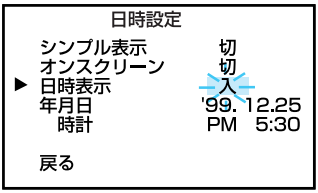




5 メニューダイヤルを押す

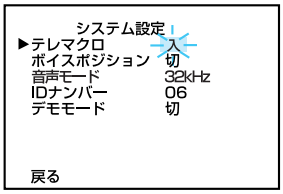
●カーソルの点滅が止まり、設定内容が点滅します。

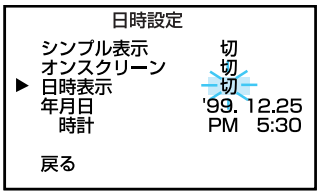




6 メニューダイヤルを回してお好みの設定に合わせる

●カーソルの点滅が止まり、設定内容が点滅します。





7 メニューダイヤルを押す

●「設定」の点滅が消え、選択が確定します。カーソルは自動的に「戻る」に移動します。

●メニューダイヤルをさらに2回押すと撮影画面に戻ります。

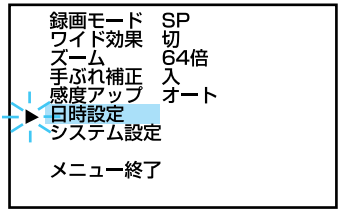
●日時を変更したいときは、次ページをご覧ください。

モードメニューの設定を変更する（つづき）

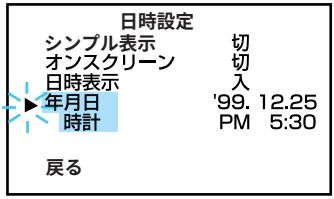
■ 日時を合わせる

お買い上げ時は、日時が設定されています。
海外旅行に行くときなどは、日時を変更して下さい。

1 102ページの手順1、2、3で「日時設定」を選ぶ

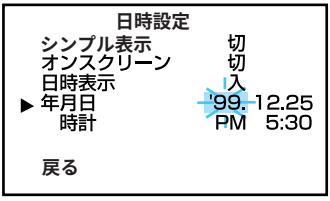


2 メニューダイヤルを回して「年月日時計」に合わせ、メニューダイヤルを押す



3 メニューダイヤルを回して、年を合わせ、メニューダイヤルを押す

●「月」表示が点滅します。同様にして「月」「日」「時間」「分」を設定する

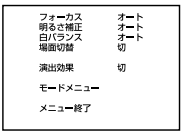


4 メニューダイヤルを押す

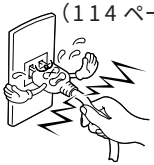
●カーソルが「戻る」の位置にあるときにメニューダイヤルを 2 回押します。

その他

●メニュー一覧
（126 ページ）



●安全上のご注意
（114 ページ）



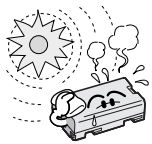
●故障かな？と思ったら
（106 ページ）

●主な仕様（124 ページ）
●海外でお使いになるときは（110 ページ）
●ビクターサービス窓口案内（112 ページ）

●保証とアフターサービス
（111 ページ）

Victor

●使用上のご注意
（119 ページ）



●索引（128 ページ）

故障かな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）を外し、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	電源が入らない	● 電源は正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？	26、27、28
撮影中	撮影できない	● テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ ● 「テープオワリ」になっていませんか？ ● 電源ダイヤルが「見る」になっていませんか？ ● カセットカバーが開いていませんか？	120 22 19 29
	映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してみてください	19
	メニューの機能が使えない	● 電源ダイヤルが「撮る」になっていませんか？	19
	自動でピントが合わない	● 「フォーカス」が「手動」になっていませんか？ ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	78 123
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	● 「日時表示」を「切」にしていませんか？ ● 「シンプル表示」を「入」にしていませんか？	101
	記念写真撮影ができない	● 「ワイド効果」で「ワイド」を選択しているときは、記念写真撮影できません。	96
	撮影したビデオの縦に明るい線が出る	● 強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	—
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	● 故障ではありません。	—

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	**記念写真で撮影した画像の色がおかしい**	● 照明の色や被写体に白い部分がない場合または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。白い被写体を角に入れて撮影してください。	—
	デジタルズームできない	● 「ズーム」が「16倍」に設定されているときは16倍ズームまでしかできません。 ● 「演出効果」で「ゴースト」を選択しているときは、ズームは16倍ズームまでしか使えません。 ● 「場面切替」で最後の映像ワイプ効果や「オーバーラップ」を選択しているときはズームは使えません。	96 94 86
	「演出効果」や「場面切替」機能が使えない	● 電源ダイヤルが「撮る」になっていませんか？	19
	「場面切替」の最後の映像（静止画）での切替が使えない	● 最後の場面を記憶している状態になっていますか？ ● 最後の場面を撮影した状態で、電源ダイヤルを「切」にしませんでしたか？ ● 電源が切れていませんか？（撮影一時停止を5分以上続けると、自動的に電源が切れます）	87 19 41
	「場面切替」の「オーバーラップ」が使えない	● 最後の場面を記憶した状態で「演出効果」を設定、変更しませんでしたか？ ● 「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」「高感度」を選択していませんか？ ● 「ワイド効果」で「ワイド」を選択していませんか？　選択しているときは使えません。	93 93 96
	「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイプ効果が使えない	● 「演出効果」の「高感度」を選択していませんか？ ● 「ワイド効果」で「ワイド」や「シネマ」を選択していませんか？	93 96
	「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない	● 「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	93

故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	「演出効果」の「ゴースト」が使えない	●「ワイド効果」で「ワイド」を選択していませんか？ ●「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイプ効果や「オーバーラップ」で撮影していませんか？ ●「場面切替」のフェーダー効果を使ってフェードイン、フェードアウトしていませんか？	96 89 88
	「演出効果」の「映画効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない	●「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイプ効果や「オーバーラップ」で撮影していませんか？	89
	「白バランス」が設定できない	●「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	93
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	●液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ● 寒い場所でビデオを再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	32 — —
	液晶画面の裏側が熱くなる	● 液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「演出効果」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	86 92 96
	液晶画面にメッセージなどの表示が出ない	●「シンプル表示」を「入」にしていませんか？	101
再生中	液晶画面の映像が乱れる	● テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	再生、巻戻し、早送りができない	●電源ダイヤルが「撮る」「M」「切」になっていませんか？	19
	テープは回っているが再生されない	●カセットカバーが開いていませんか？ ●テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか？	29 51

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
その他	**液晶画面に「E01」など、Eの付いた数字が表示される**	● 拡大故障を防ぐため、ビデオカメラが操作できなくなります。バッテリーなど電源を取り外し、数分待って表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。テープを傷める場合がありますので、テープを取り出さないでください。	22
	液晶画面に映像が表示されない	● 液晶画面の明るさを調節してみてください。 ● 液晶画面を180°回転しているときは、液晶画面を一度確実に開いてください。	32 ——
	ACアダプターの充電ランプがつかない	● 低温（10℃以下）や高温（30℃以上）で充電していませんか？10～30℃の環境で充電してください。周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止されることがあります。	26
	テープが入らない	● テープの向きが間違っていませんか？ ● バッテリーの容量が少なくなっていませんか？	29 22
	プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	● 故障ではありません。 手振れ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	— ——
	DVコードで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態でDVケーブルを抜き差ししませんでしたか？一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	60、62 64
	自動編集ができない	● 編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。 ● 編集終了場面と開始場面までの早送り時間が、ビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約5分）を超えるときは、自動編集できません。 ● 自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。 ● 編集終了場面を決めずにダビングしたときは、ビデオの最後まで自動的にダビングします。	72 72

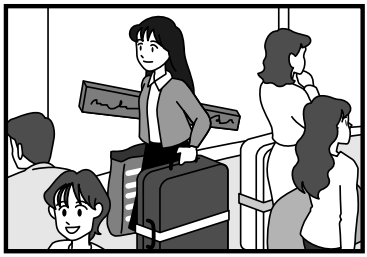
海外でお使いになるときは

ポイント

コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。



■ 現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。
NTSC方式を採用している国は以下の通りです。

●アメリカ合衆国
●エクアドル
●エルサルバドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●韓国
●チリ
●ドミニカ
●スリナム
●台湾
●バミューダ
●プエルトリコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●コスタリカ
●コロンビア
●トリニダード・トバコ
●ニカラグア
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●ハイチ

●海外で故障したときは

112ページ「サービス窓口案内」の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。
その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

●再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。

Victor 保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

106～109ページの「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品　名：デジタルビデオカメラ
型　名：GR-DVA1
お買い上げ日：　年　月　日
故障の状況：できるだけ具体的に
ご住所：
お名前：
電話番号：（　　）　　ー

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店に修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている時は

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検　●長年ご使用のビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか？	ご使用を中止
●再生しても映像や音声が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9（木村ビル）
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町211番
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-14
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0799

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京都北部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明石S.S	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵庫西部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売㈱ サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー〔973-808-9279〕
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105
・ホノルル〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC（U.K.）LIMITED
・ロンドン〔0181-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
・パリ〔01-39-96-33-33〕
102, Boulevard Heloise, 95104 Argenteuil Cedex

シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

（注）・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

こころのかよう サービス

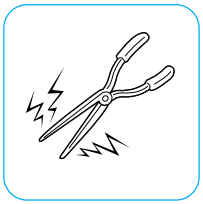
サービスネットワークＢＳ　9001

その他

⚠ 安全上のご注意

火災や感電の原因になりますので、こんなことは絶対にしないでください。

●分解や改造をする
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



⚠警告

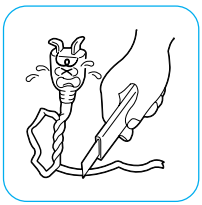
●ぬれた手で電源プラグを抜き差しする
・感電の原因となることがあります。

⚠注意

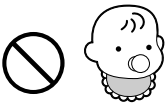
●上に乗る
・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

⚠警告

●電源コードを傷つける
・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、熱器具に近づける



⚠警告



●電源コードのコード部分を持って抜く
・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・プラグの部分を持って抜いてください。

⚠注意

火災や感電の原因となりますので、次のような場所に置いたり、次のような場所で使用しないでください。

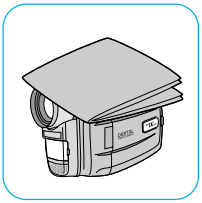
●自動車などの運転中
・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

⚠警告

●水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）を機器の近くに置く。

⚠注意

●本機やアクセサリーなどを布などでおおう
・熱がこもって変形することがあります。



⚠注意

●風呂場

⚠警告

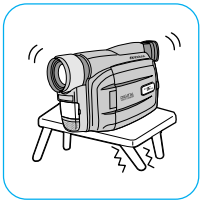
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用

⚠警告

●雷が鳴っているとき、電源プラグにふれる

⚠警告

●不安定な場所
・落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となります。



⚠警告

安全上のご注意（つづき）

火災や感電の原因となりますので、次のような場所に置いたり、次のような場所で使用しないでください。

●強い電波や磁気の発生する所
・故障の原因となることがあります。

⚠注意

●飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う
・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

⚠注意

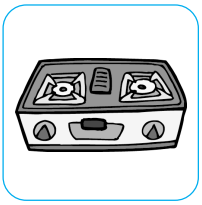
●砂浜などの砂ぼこりのある所

⚠注意

●湿気やほこりの多い所

⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所



⚠注意

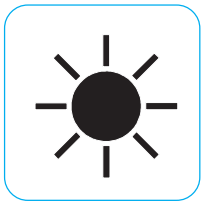
●熱器具の近くなど

⚠注意

●真夏の車内など高温になる所

⚠注意

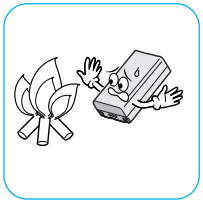
●直射日光の強い所



⚠注意

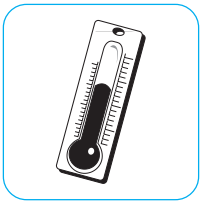
ＡＣアダプター、バッテリーやボタン電池について次のようなことは絶対にしないでください

●バッテリーやボタン電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入する
・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



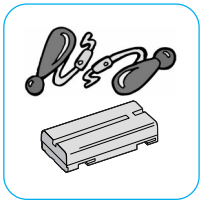
⚠危険

●高温の場所（60℃以上）に置く
・発熱、破裂、発火の原因となります。



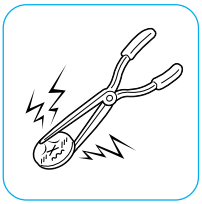
⚠危険

●バッテリーの端子部（＋と－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させる
・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



⚠危険

●ボタン電池の端子部（＋と－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させる
・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



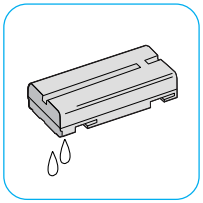
⚠危険

安全上のご注意（つづき）

ＡＣ アダプター、バッテリーやボタン電池について次のようなことは絶対にしないでください

●液漏れを起こしたバッテリーやボタン電池を使う

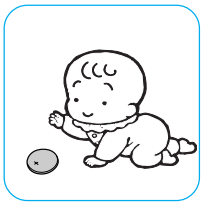
・液漏れを起こしたボタン電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。



⚠警告

●ボタン電池を幼児の手の届く所に置く

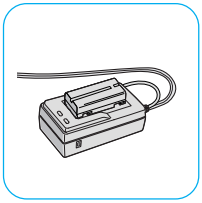
・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。



⚠警告

●通電中の ＡＣ アダプターや充電中のバッテリーに長時間触れる

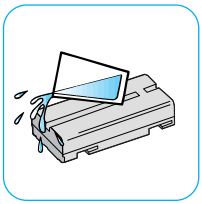
・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



⚠注意

●濡れたバッテリーおよびボタン電池を使う

・故障、感電、発熱、発火の原因となります。



⚠警告

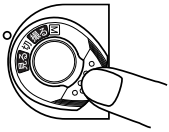
⚠ 使用上のご注意

ビデオカメラについて

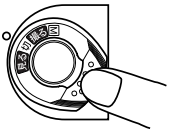
●本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。
・従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません

Mini DV NTSC

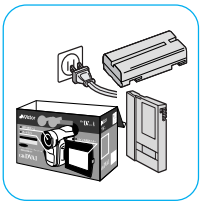
●電源（バッテリーやACアダプター）を外すときは、必ず電源が「切」になっている ことを確認してください。
・ビデオカメラの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。



●長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。
・長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

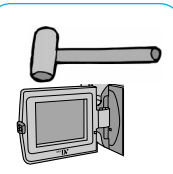


●ビデオカメラを保管するときはテープを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。
・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。



液晶画面について

●液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

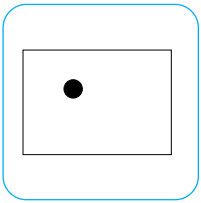


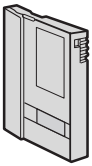
次ページにつづく

使用上のご注意（つづき）

●ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出ることがあります。

・ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点や黒い点が出ることがあります。
これらはテープに記録されません。





カセットについて

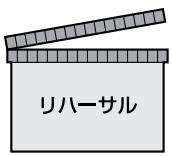
●本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。

・MiniDVマークの付いたデジタルビデオカセットをご使用ください。

Mini DV NTSC

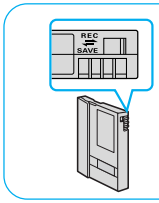
■ 事前に試し撮りをしてください。

・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。



●大切な録画を消してしまわないように注意してください。

・保存しておきたい録画済みテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。

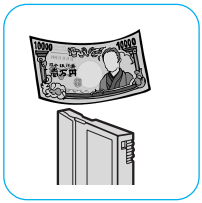


■ 内容の補償についてはご容赦ください。

・万一、ビデオカメラおよびカセット等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

●権利者に無断で使用できません。

・あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

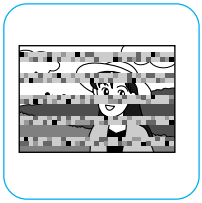


●撮影を制限している場所があります。

・鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

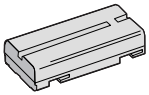
●モザイク状のノイズが出る場合があります。

・LPモードで録画されたカセットは、他のLPモードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。



●カセットは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。

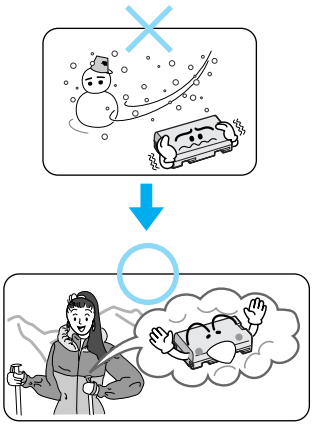
●カセットケースに入れて保存してください。



バッテリーについて

●リチウムイオンバッテリーの特性

・リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ビデオカメラの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。

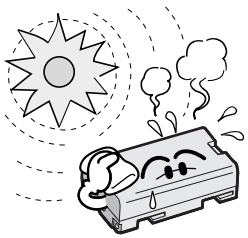


次ページにつづく

使用上のご注意（つづき）

●リチウムイオンバッテリーの保存

・充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
＜残りの容量を使い切るには＞
①テープを入れずに電源を入れる。
②ビデオカメラの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す
・長期間保存する場合は、半年に一回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
・使用しないときは必ずバッテリーをビデオカメラやACアダプターから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
・涼しい所で保存してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した所をおすすめします。暑い所や極端に寒い所は避けてください。
・保存するときは、キャップに取りつけておいてください。
・充電完了後は、ACアダプターに放置しないでください。



時計用電池について

●日時を記憶するための電池が内蔵されています。電池の容量がなくなると、バッテリーやACアダプターの電源をはずしたとき日時情報が失われます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

●つゆつきはこんなときに起こります

・ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

●つゆつきが発生すると

・液晶画面に 💧 が表示され、ビデオカメラが停止します。カセットの出し入れもできません。
・通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間は 💧 などが表示されないことがあります。 💧 が出る前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
・つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

●つゆつき後再び使い始めるときは

・電源を切って 1 時間以上待ちます。その後、電源を入れて数分待ち、 💧 が消えてからご使用ください。 💧 が消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
・寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯では 💧 が消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

●つゆつきのトラブルを防ぐには

・寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
・例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋等に空気といっしょにビデオカメラを入れ、しばらくその状態で部屋になじませてからご使用ください。

主な仕様

〔ビデオカメラ〕

■ 一般仕様

項　　目	仕　　様
電源	DC 6.3 V（ACアダプター使用時）DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.6 W（ファインダー使用時）、5.6 W（液晶画面使用時） 8.2 W（ファインダーとビデオライト使用時）、 9.2 W（液晶画面とビデオライト使用時）
外形寸法	200 mm × 120 mm × 88 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　約 700 g 撮影時質量　約 820 g（バッテリーBN-V214、カセットM-DV30E含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

■ カメラ部

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/4型 68万画素CCD（撮像エリア34万画素）
レンズ	F1.6、ƒ＝3.9 mm ～ 62.4 mm （35 mmカメラ換算：44.9 mm ～ 718 mm）
フィルター径	40.5 mm（ネジピッチ0.5 mm）
最低照度	8ルクス
ズーム倍率	光学16倍、最大160倍（デジタル使用）

■ デジタルビデオカメラ部

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12bit）、 48 kHz　2チャンネル（16bit）／44.1 kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：60分、LPモード：90分（DVM60テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

■ 液晶画面／ファインダー部

項　　目	仕　　様
液晶画面	3.5型、11万画素カラー液晶
ファインダー	0.55型、11万画素カラー液晶

■ 端子部

項　　目	仕　　様
DV入力／出力端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S映像出力端子（S）	アナログ出力（輝度信号：1 Vp-p、75 Ω　カラー信号:0.286 Vp-p、75 Ω）
映像出力端子（V）	アナログ出力（1 Vp-p、75 Ω）
音声出力端子（L／R）	ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
パソコン端子	Φ2.5 mm 3極 ミニミニジャック
JLIP端子	Φ3.5 mm 4極 ミニジャック
DC入力端子	6.3 V

〔AC アダプター / チャージャー〕

■一般仕様

項　　目	仕　　様
電源	AC 100～240 V、50/60 Hz
入力容量	17 VA（100 V充電時）、　26 VA（240 V充電時） 31 VA（100 V VTR時）、　39 VA（100 V VTR時）
出力	DC 7.2 V ⎓、0.77 A（充電時）、DC 6.3 V ⎓、1.8 A（電源供給時）
許容動作温度	0 ℃～40 ℃（充電時は10 ℃～35 ℃）
外形寸法	68 mm×255 mm×38 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約255 g（DCコード含まず）

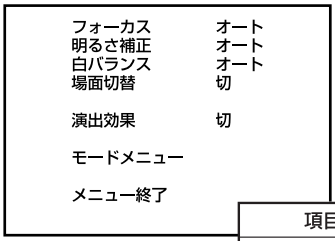
●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

・本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

メニュー一覧

■ 撮影時 ■

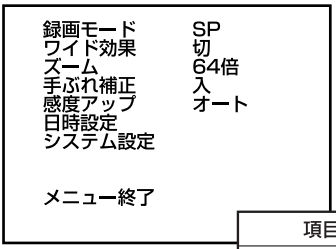
電源ダイヤルが「M」のときメニューダイヤルを押して表示させます。



【メインメニュー】

項目	設 定 内 容	初期値
フォーカス (*)	オート/マニュアル	オート
明るさ補正 (*)	オート/マニュアル	オート
白バランス	オート/マニュアル（ ☀ ☀ ☀ ）	オート
場面切替	切、フェーダー：白、フェーダー：黒、フェーダー：モザイク、フェーダー：白黒、ワイプ：コーナー、ワイプ：ウィンドウ、ワイプ：スライド、ワイプ：ドア、ワイプ：スクロール、ワイプ：シャッター、ランダム、オーバーラップ	切
演出効果	切、シャッター1/60、シャッター1/100、シャッター1/250、1/500、夜景、セピア、ブラック/ホワイト、映画効果、ストロボ、高感度4倍/10倍、ゴースト	切
モードメニュー	下のモードメニュー参照	—

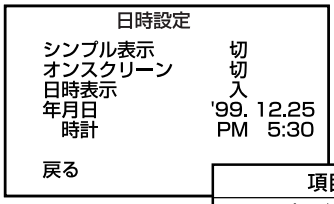
(*)：電源ダイヤルを「撮る」にする、または電源を切ると「初期値」に戻る項目



【モードメニュー】

項目	設 定 内 容	初期値
録画モード (*)	SP/LP	SP
ワイド効果	切/ワイド/シネマ	切
ズーム	16倍/64倍/160倍	64倍
手ぶれ補正	入/切	入
感度アップ	AGC/切/オート	オート
日時設定	次ページの日時設定メニュー参照	—
システム設定	次ページのシステム設定メニュー参照	—

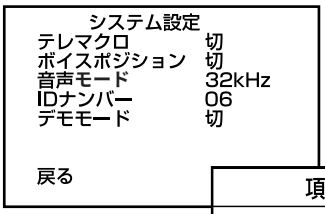
(*)：電源ダイヤルを「撮る」にしたときも
設定した内容で動作する項目



【日時設定メニュー】

項目	設定内容	初期値
シンプル表示 （＊）	切/入	切
オンスクリーン（＊）	切/入	切
日時表示	入/切	入
年月日　時計	現在の年月日、時刻を表示	出荷時に現在年月日、時刻を設定

（＊）：電源ダイヤルを「撮る」にしたときも設定した内容で動作する項目

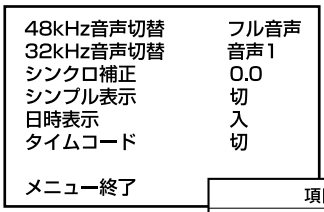


【システム設定メニュー】

項目	設定内容	初期値
テレマクロ	切／入	切
ボイスポジション	切/入	切
音声モード	48kHz/32kHz	32kHz
IDナンバー	01～99まで設定可能	06
デモモード	切/入	切

■ 再生時 ■

電源ダイヤルが「見る」のときメニューダイヤルを押して表示させます。



【メインメニュー】

項目	設定内容	初期値
48kHz音声	フル音声/音声1/音声2	フル音声
32kHz音声	フル音声/音声1/音声2	音声1
シンクロ補正	−1.3～+1.3	0.0
シンプル表示	切/入	切
日時表示	入/切	入
タイムコード	切/入	切

索 引

あ
アイコン ..... 12、88、92
明るさ調節 80
明るさ固定表示 ..... 20、81
明るさ補正 80
明るさ補正表示 ..... 20、80
アフレコ編集 66
安全上のご注意 ..... 8、114

い
一時停止ボタン 17
色のバランス調節 82
色温度 84
色のバランスを固定 84

え
映画効果 ..... 53、93
映像出力端子 18
液晶画面 17
演出効果 ..... 53、92
演出効果のアイコン 92
エラーメッセージ 22

お
お知らせ表示 22
押開ボタン 17
主な仕様 124
オーバーラップ ..... 87、89
オンスクリーン 101
音声１ 56
音声２ 56
音声モード 100
音声モード表示 ..... 20、21
音声出力端子 18
音量調節 48
音量スイッチ 17
主な特長 10

か
海外での使用 110
外部入力 51
カセットの出し入れ 29
カセット 120
カセットカバー 17
カセットホルダー 29
カセット取出しスイッチ 16
カセット保存つまみ 120
カメラセンサー 18
画面の明るさ調節 32
感度アップ 96

き
記念写真撮影 42
記念写真ボタン ..... 16、42
記念写真モード 43
記念写真モードボタン ..... 16、42
記念写真モード表示 ..... 20、42
記念写真表示 20
逆転スロー再生 49

く
暗い場所で撮影 45
グリップベルト ..... 16、30

こ
広角 44
高感度 93
ゴースト ..... 53、93
コマ送り再生 49

さ
再生 48
再生ズーム 52
再生ボタン 17
再生メニュー 54
再生モード 19
再生音声の切り替え 56
撮影の基本 38
撮影一時停止表示 20
撮影中表示 20
三脚取りつけ穴 18

し
システム設定メニュー 100
実撮影時間 41
自動編集 68
自動編集画面 72
視度調節レバー 33
ショルダーストラップ取り付け部 16
使用上のご注意 119
白バランス 82
白バランス表示 20
シンクロ補正 76
シンプル表示 ..... 54、101

す
スタート / ストップボタン ..... 16、40
ステレオマイク 18
ストロボ ..... 53、93
スピーカー 16
スピーカー音量表示 21
ズーム撮影 ..... 44、96
ズームスイッチ ..... 17、44
ズーム倍率表示 20
ズーム表示 20
スローボタン 49
スロー再生 49

せ
セピア ..... 53、93
正転スロー再生 49
接写 44

た
タイムコード 46
タイムコード表示 ..... 21、46
対面撮影 39
ダビング 58

ち
チルディング 39

つ
つゆつき ..... 22、123

て
停止ボタン 17
定期点検 23
デジタルズーム ..... 44、96
デジタルズーム表示 20
デジタルダビング 60
デジタルビデオヘッドクリーナー 23
テープオワリ 22
テープ残量表示 ..... 20、41
テープ走行表示 20
テープ動作表示 21
手ぶれ補正 96
手ぶれ補正表示 20
デモモード 100
テレマクロ 100
電源ダイヤル ..... 16、19
電源ランプ 19

と
撮る ..... 19、40
時計用電池 122

に
日時設定 104
日時設定メニュー 101
日時表示 ..... 20、21、100
入力切換 51

ね
年月日時計 101

の
ノイズ音 51

ぱ
パソコンに接続 64
パソコン端子 17
バックル 31
バッテリーの充電 26
バッテリーの取りつけ 27
バッテリー残量表示 22
バッテリー取りはずしスイッチ 16
パッド 30
場面切替 86
場面切替のアイコン 88
早送りボタン 17
早送り再生 49
パンニング 39

ひ
ビクターサービス窓口案内 112
ビデオライト ..... 18、45
ビデオプリンターで印刷 62
ビデオ撮影のテクニックとコツ 13
ビデオライトスイッチ ..... 16、45
ピント合わせ 78
ピント表示 20
ピンナップモード 42

索 引（つづき）

ふ
ファインダー視度調節 33
ファインダー内の汚れ 24
ファインダー表示 20
フェーダー 86
フェードアウト 86
フェードイン 86
フォーカス 78
付属品 7
ブラック / ホワイト 93
フルオート撮影モード ..... 19、40
フル音声 56
ブルーバック 49
フルモード 42
フレームモード 42

へ
ヘッドめづまり 23
ヘッド摩耗 23
変換プラグ 110
編集ケーブル 71

ほ
望遠 44
ボイスポジション 100
ボイスポジション表示 20
保証とアフターサービス 111
保証期間 111
保証書 111
ボタン電池 34

ま
マイク 67
巻戻しボタン 17
巻戻し再生 49
マクロ撮影 44
マニュアル撮影モード 19

む
無記録部分 46

め
メーカー別リモコン設定表 69
メニューダイヤル 16
メニュー一覧 126

も
モザイク状のノイズ 121
モードメニュー 96

や
夜景 92

ら
ランダム 86

り
リチウムイオンバッテリー 121
リモートコントロール 34
リモートポーズ端子 71
リモコンの使い方 34
リモコン再生 49
リモコン受光部 18
リモコン設定 69
リモコン電池 34

れ
連写 42
レンズキャップ 16
レンズの汚れ 24
レンズブロアー 24
連続コマ撮影 43
連続撮影時間 41

ろ
録画タイミングのズレ 75
録画モード 96
録画モード表示 ..... 20、21

わ
ワイド / シネマ表示 20
ワイド効果 96
ワイプ 86
ワイプアウト 86
ワイプイン 86

アルファベット・数字

32kHz 音声 ..... 56、100
4 マルチモード 42
48kHz 音声 ..... 56、100
9 マルチモード 42
AC アダプター ..... 26、28
AGC 96
B ／ W（ブラック／ホワイト） 93

DC コード 28
DC 出力端子 28
DC 入力端子 28
DV ケーブル ..... 60、62、64
DV 入力 / 出力端子.. 17、60、62、64
DV 入力表示 ..... 21、61
E01 ～ 06 22
ID ナンバー 100
i-LINK 17
JLIP ケーブル 7
JLIP 端子 ..... 17、71
LP モード 96
M（マニュアル撮影モード）..... 19
S 映像コード ..... 50、58、62
S 映像出力端子 ..... 18、50、58、62
SP モード 96
T（望遠）..... 44
W（広角）..... 44

故障かな？と思ったら
修理をご依頼になる前に106〜 109ページをご確認ください。

修理相談
「お買い上げ販売店」へご依頼ください。
ご転居等で保証書に記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、111ページの「保証とアフターサービス」をお読みの上、112〜113ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お問い合わせ
ビクター製品についてのお買物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

■ **東京お客様ご相談センター**
☎ **(03)5684-9311**
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

■ **大阪お客様ご相談センター**
☎ **(06)6765-4161**
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

■ **DVご相談窓口**
☎ **(045)450-2770**

ビクターホームページ
http://www.jvc-victor.co.jp/

SAVE 省エネで 守る環境 豊かな暮らし

JVC Loves the Earth

Victor JVC
日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045)450-2550

Ⓒ 1999 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LTD.

0899HOV∗BS∗VP